



IVR-100VoIP

(4ch~100ch モデル)

IVR-24VoIP

(4ch~24ch モデル)

取扱説明書

使用許諾契約書

株式会社タカコム（以下、「当社」といいます）は、お客様に提供された「チャンネルライセンス」（以下、「本ライセンス」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

1. 権利の許諾

お客様は、本契約の条項にしたがって「ライセンスディスク」に記載された数量（チャンネル数）の回線を使用することができます。

2. 制限事項

お客様は、以下のことはできません。

- （1）チャンネル数の変更をすること。
- （2）第三者に対し本ライセンスの使用許諾、貸与またはリースすること。
- （3）第三者に対し本ライセンスを譲渡、販売すること。

3. 免責事項

お客様が本ライセンスを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いません。

以上

目次

1. はじめに	8
2. ご使用前にお読みください	8
2. 1 ご利用に際しての注意	8
2. 2 OSSについて	8
2. 3 用語の説明	9
2. 4 同梱物の確認	9
3. 概要	9
3. 1 IVR-VoIPとは	9
3. 2 特徴	9
3. 3 接続形態	9
4. 仕様	10
4. 1 IVR-100VoIP / IVR-24VoIP 共通仕様	10
4. 2 IVR-100VoIP 仕様	10
4. 3 IVR-24VoIP 仕様	10
5. 製品外観・名称と説明	11
5. 1 筐体前面図	11
5. 1. 1 IVR-100VoIP	11
5. 1. 2 IVR-24VoIP	11
5. 2 筐体背面図	12
5. 2. 1 IVR-100VoIP	12
5. 2. 2 IVR-24VoIP	12
5. 3 19 インチラックマウントについて(IVR-100VoIPのみ)	12
6. 機能	13
6. 1 Web 管理機能	13
6. 2 着信規制機能	14
6. 3 着信機能	14
6. 4 発信規制機能(発信規制ライセンス導入時のみ)	14
6. 5 通話録音機能(録音ありのチャンネルライセンス導入時のみ)	14
6. 6 液晶パネル機能(IVR-100VoIPのみ)	15
6. 6. 1 液晶パネル機能メニュー	15
6. 6. 2 バージョン表示	15
6. 6. 3 ネットワーク表示	16
6. 6. 4 装置再起動	16
6. 6. 5 装置停止	16
6. 6. 6 アラーム表示	16
7. 設置および回線との接続	17
7. 1 設置	17
7. 2 装置の起動	17
7. 3 管理画面へのアクセス	18
7. 3. 1 ログイン	18
7. 3. 2 ログアウト	18
7. 3. 3 ログインアカウント権限による管理メニューの違い	19
7. 4 各種接続	20
7. 4. 1 管理 PC との接続	20
7. 4. 2 フレッツ光ネクスト回線との接続	21
7. 4. 3 下位端末の接続と起動	22
7. 4. 4 通話状態の確認	23
8. 装置の起動・停止・再起動	24
8. 1 装置の起動	24
8. 2 装置の停止	24
8. 2. 1 Web ブラウザからの停止	24

8. 2. 2	パネル操作からの停止(IVR-100VoIPのみ)	24
8. 2. 3	装置停止時の注意事項	25
8. 3	装置の再起動	25
8. 3. 1	Web ブラウザからの再起動	25
8. 3. 2	パネル操作からの再起動(IVR-100VoIPのみ)	25
8. 3. 3	再起動時の注意事項	26
9.	環境設定	27
9. 1	アカウントの管理	29
9. 1. 1	管理者/工事者アカウントの登録	30
9. 1. 2	一般アカウントの登録	30
9. 1. 3	アカウントの削除	30
9. 2	ネットワーク設定	31
9. 3	電話番号の設定	33
9. 3. 1	電話番号および着信グループの登録	33
9. 3. 2	CSV ファイルによる電話番号登録	33
9. 4	休日カレンダーの設定	34
9. 4. 1	休日カレンダーの登録	34
9. 4. 2	休日カレンダーの修正	34
9. 5	音声ガイダンスの登録管理	35
9. 6	伝言録音動作の設定	36
9. 7	通話録音用音声管理装置連携機能	37
9. 8	通話録音機能の設定(録音ありのチャンネルライセンス導入時のみ)	37
9. 8. 1	通話録音ファイルの共有フォルダに関する設定	38
9. 8. 2	通話録音機能の有効化/無効化	39
9. 9	保留とガイダンス	40
10.	運用設定	41
10. 1	着信規制	42
10. 1. 1	着信規制の電話番号判定方法について	42
10. 2	発信規制(発信規制ライセンス導入時のみ)	43
10. 2. 1	発信規制の電話番号判定方法について	44
10. 2. 2	発信規制機能の確認について	44
10. 3	着信メイン処理	45
10. 3. 1	動作条件	46
10. 3. 2	対応動作	47
10. 4	対応動作および機能	47
10. 4. 1	再生&呼出	47
10. 4. 2	再生&切断	47
10. 4. 3	透過呼出	47
10. 4. 4	端末呼出し	48
10. 4. 5	伝言録音	49
10. 4. 6	外線転送	49
10. 4. 7	切断	49
10. 4. 8	プッシュボタン処理(多階層モデルのみ)	50
11.	運用管理(伝言録音・発着信の履歴・通話録音)	52
11. 1	発着信の履歴	52
11. 2	伝言録音	54
11. 3	通話録音(録音ありのチャンネルライセンス導入時で、録音モードが選択された場合のみ)	55
11. 3. 1	通話録音音声のファイル共有参照	56
12.	メンテナンス	57
12. 1	回線状態・システム状態の確認	57
12. 2	システムログの取得とアラーム表示	58
12. 2. 2	IVR-24VoIP 正面パネルランプ	59

13. ライセンス	60
13. 1 ライセンスのダウンロード	60
13. 2 ライセンスの更新	60
14. 設定データ	61
14. 1 設定データの保存・読込	61
14. 2 設定データの操作対象	62
15. バージョンアップ	63
16. 無停電電源装置(オプション)について	63
16. 1 無停電電源装置の用意	63
16. 2 UPS 接続環境	63
16. 3 UPS による自動停止時のアラーム表示について	63
17. 「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスの利用について	64
17. 1 試験呼番号に対する設定	64
17. 1. 1 下位端末が無い場合の試験呼に対する設定例	64
17. 1. 2 下位端末がある場合の試験呼に対する設定例	64
17. 2 停止時の注意事項	65
17. 3 UPS による停止	65
17. 4 下位端末の故障検知	65
17. 5 「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスの動作確認について	65
18. 困る前に・困ったときは	66
18. 1 設定のバックアップ	66
18. 2 IP アドレスを忘れた	66
18. 3 ログイン画面が表示されない	66
18. 4 初期設定管理者アカウントでログインできなくなった	66
18. 5 着信動作設定しても「透過転送」になる	66
18. 6 ひかり電話の通話ができない	67
18. 7 ハードウェア故障の判断	67
18. 7. 1 IVR-100VoIP モデル	67
18. 7. 2 IVR-24VoIP モデル	68
19. ソフトウェアライセンス表示について	68
参考資料	69
設定事例 1. 業務時間内の下位端末に対する透過呼出し、および業務時間外ガイダンスの再生	70
設定事例 2. 2階層分岐処理・着信番号指定で下位端末を呼出し・保留設定	71

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	 めれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。感電や故障の原因となります。
	 電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。なお、電源プラグを抜くときは、必ず電源の切りかたに従って本装置の電源を切ってから抜いてください。ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	 AC 100 V商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。火災や感電・故障の原因となります。
	 雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。落雷による感電の原因となります。
	 本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	 万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	 本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。火災や感電の原因となります。改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
	 床や壁の掃除などによって、電源コードやモジュージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
	 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

 警告	 アースは、確実に取り付けてください。 故障や漏電があった場合、感電の原因となります。
	 アース線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつながないでください。 火災や感電の原因となります。
	 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 注意	 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
	 本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。 本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。
	 長時間ご使用にならないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	 直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となります。
	 湿気が多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。 火災や感電の原因となります。
	 ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

1. はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をご使用になる前に、必ず「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

2. ご使用前にお読みください

本書は、本製品のご利用について記載したものです。必ずご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。
本書にはご使用者が本製品を使用される上で必要な内容を記述しております。

2. 1 ご利用に際しての注意

①～チャンネルライセンスに関する注意～

ひかり電話契約チャンネル数と本製品のチャンネルライセンス数が以下の条件を満たすようお願いします。

$$\text{【 ひかり電話契約チャンネル数} \leq \text{本製品チャンネルライセンス数} \text{】}$$

本製品のチャンネルライセンス数を超えた発信・着信は自動切断(BUSY)される仕様となっておりますのでご注意ください。

②～本製品の Terminal ポートに東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)製ゲートウェイが設置される場合の注意～

本製品の低位に接続された東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)製ゲートウェイにてファームウェアの更新を行う場合、実際のバージョンアップ実施が2度目のファームウェア更新チェック実行のタイミングとなる場合があります。

③～「B フレッツ」から「フレッツ光ネクスト」に移行したお客様への注意～

「B フレッツ」から「フレッツ光ネクスト」に移行したお客様の場合、本製品のご利用に際しては東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)に連絡の上、現行のフレッツ光ネクスト回線と同等の機能を提供する回線への変更作業(原則無償)が必要となります。詳しくは東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)へご相談ください。

④～ONU 一体型の Home Gateway をご利用の場合の注意～

本製品は直収端末利用のためそのままではご利用いただけません。ONU 分離型 Home Gateway への交換工事を東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)へ依頼してください。

⑤～下位端末の網接続の不具合についての注意～

本製品には東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)の「次世代ネットワークインタフェース資料(詳細版)」に対応した端末機器を接続してください。

本製品は上記資料に準拠した網側インタフェースを提供しますが、実網との完全互換動作を保証するものではありません。
下位端末の網接続不具合時の切り分けについては、当社までご相談ください。

⑥～音声通話以外のテレビ電話や IP-FAX 等の制限～

本製品がサポートするひかり電話のメディアは、音声通信(audio)のみとなります。映像通信(video)やデータコネクタ通信(application/image)には対応していないため、テレビ電話や T.38 IP-FAX は利用できません。

ひかり電話で音声通信以外のサービスを利用したい場合は別回線をご用意の上ご利用ください。

⑦～ひかり電話オフィス A(エース)オプション「一括転送機能」および「故障・回復通知機能」ご利用時の注意～

上記オプション利用時は ONU と接続している LAN ケーブルを外した上で、停止操作を行ってください。

上記手順を行わない場合「故障・回復通知機能」では障害と判断されず、「一括転送機能」が動作しませんのでご注意ください。

⑧～ひかり電話オフィス A(エース)オプション「グループダイヤリング」サービスの制限～

本製品は上記オプション「グループダイヤリングサービス」をサポートしておらず、お客様番号(事業所番号+内線番号)による発信はご利用できません。

2. 2 OSS について

本製品ではシステム内部にて一部 GPL 対象の OSS (オープンソース・ソフトウェア) を利用しています。ソフトウェアのライセンス、著作権については、本製品管理画面のソフトウェアライセンス情報のページをご覧ください。

2. 3 用語の説明

以下、本書内で意味を特定して使用している用語について記述してありますので、ご一読ください。

PBX	構内交換機
ONU	光回線終端装置
下位端末	Home Gateway や Office Gateway、直収 PBX 等
HUB	ネットワーク集線装置
DTMF	Dual Tone Multi Frequency=PB トーンと同義。プッシュ回線のダイヤルの音(PB 信号ともいう)
管理 PC	クライアント PC や別売の音声管理装置

2. 4 同梱物の確認

本装置には、次の添付品が付属されます。梱包内容に不足のないことを確認してください。

IVR-100VoIP (4ch~100ch)

	品名	数量	備考
1	CD-ROM	1 枚	ライセンスファイル、音声ファイル
2	筐体底面足用ゴムシート	1 式	
3	電源コード	1 本	※
4	ラックマウント金具	2 個	19 インチラック設置用
5	ラックマウント金具用ネジ	6 個	
6	取扱説明書	1 部	本書

IVR-24VoIP(4ch~24ch)

	品名	数量	備考
1	CD-ROM	1 枚	ライセンスファイル、音声ファイル
2	筐体底面足用ゴムシート	1 式	
3	電源コード	1 本	※
4	電源アダプタ	1 個	※
5	電源コード結束ベルト	1 個	
6	取扱説明書	1 部	本書

※本製品に付属の“電源コード” “電源アダプタ”は本製品専用ですので、他の製品に使用しないでください。

3. 概要

3. 1 IVR-VoIP とは

本装置は東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)が提供するフレッツ光ネクスト回線に接続し利用する音声応答装置です。ご利用中の ONU と Office Gateway などの下位端末との間に接続する簡単な設置方法です。音声案内・伝言録音の機能を搭載し電話応答の効率化を強力にバックアップします。

プッシュボタン(DTMF)入力による階層制御が可能な多階層モデルと、単階層モデル(階層制御不可)があります。

IVR-100VoIP		IVR-24VoIP	
4ch~100ch(4ch 単位)		4ch~24ch(4ch 単位)	
単階層モデル	多階層モデル	単階層モデル	多階層モデル

※単階層モデルは、単階層チャンネルライセンス(IVR-A-CL4)および、単階層チャンネルライセンス録音あり(IVR-AR-CL4)を使用します。

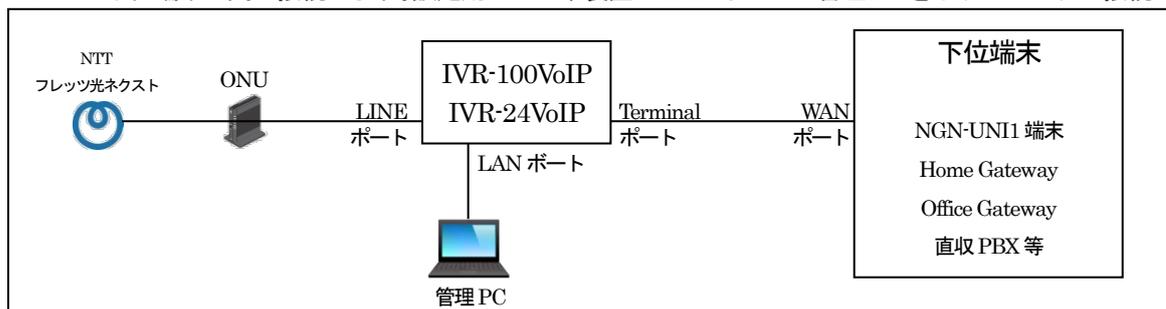
※多階層モデルは、多階層チャンネルライセンス(IVR-B-CL4)および、多階層チャンネルライセンス録音あり(IVR-BR-CL4)を使用します。

3. 2 特徴

本製品の設置形態では、下位端末からは本装置が網として認識されるので PBX や Office Gateway の設定を変更する必要がありません。また着信番号毎に応答動作を個別に設定する事ができます。また、放棄呼を含む発着信履歴管理が可能です。デメリットとして本装置はフロント(網)側に接続している為、内線番号を指定して直接内線電話を呼出す事が出来ません。内線番号を指定して呼出す運用を行ないたい場合、「PBX でダイヤルイン番号に内線番号もしくは内線グループを連携」させるという運用が必要となります。

3. 3 接続形態

以下のように ONU と下位端末の間に接続します。設定用として本装置の LAN ポートと管理 PC をネットワークで接続します。



4. 仕様

4. 1 IVR-100VoIP / IVR-24VoIP 共通仕様

No	項目	内容
1	音声ガイダンス	最大 100 ファイル登録可能
2	カレンダー登録	最大 100 カレンダー(1 カレンダーあたり最大 150 日)
3	着信グループ登録	最大 100 グループ
4	着信規制	最大 30 万件
5	発信規制 (別途ライセンスが必要)	最大 30 万件
6	ブッシュボタン処理	多階層モデルに搭載
7	伝言録音機能	最大 100 ボックス
8	通話録音機能 (録音ありのチャンネルライセンスで対応)	本装置単体で通話録音機能を搭載できます、最大録音時間約 1,200 時間 (音声ファイルサイズは約 1MB/分)
9	通話録音用音声管理装置連携機能	使用しません
10	日付・時刻	網側より自動取得(手動による設定変更不可)
11	システムセキュリティ	ログインユーザおよびパスワード
12	管理画面同時アクセス	最大 10 クライアント
13	網側接続ポート	100/1000Mbps Ethernet(10Mbps は動作保証外)
14	端末側接続ポート	100/1000Mbps Ethernet(10Mbps は動作保証外)
15	LAN ポート	100/ 1000Mbps Ethernet(10Mbps は動作保証外) 初期 IP アドレス 192.168.0.101/24
16	UPS 用 USB ポート	別売の UPS 製品に限る
17	コンソールポート	保守メンテナンス接続用シリアルコンソールポート
18	通話録音・伝言録音ファイル形式	PCM、データ 16bit、モノラル、サンプリング 8000Hz
19	音声ガイダンスファイル形式	PCM、データ 16bit、モノラル、サンプリング 8000Hz (8bit/8000Hz の場合に限り 16bit/8000Hz に自動変換して登録)

4. 2 IVR-100VoIP 仕様

No	項目	内容
1	收容可能 ch 数	最大 100ch(最大 ch を越える環境では、通話自体も動作保証外)
2	ランプ	POWER(PWR)、Disk-Access
3	LCD・操作キー	2×16、ASCII ・ LCD 操作キー×4 ボタン
4	電源/消費電力	AC100V ±10V / 最大 270W
5	使用温湿度環境	動作時 温度：5～40℃、湿度：20～85%(ただし、結露なきこと)
		保管時 温度：-10～50℃、湿度：20～85%(ただし、結露なきこと)
6	外観寸法・質量	430(W) × 392(D) × 44(H)mm(突起物含まず) ・ 約 5.5kg
7	VCCI	class-A
8	RoHS 指令	適合

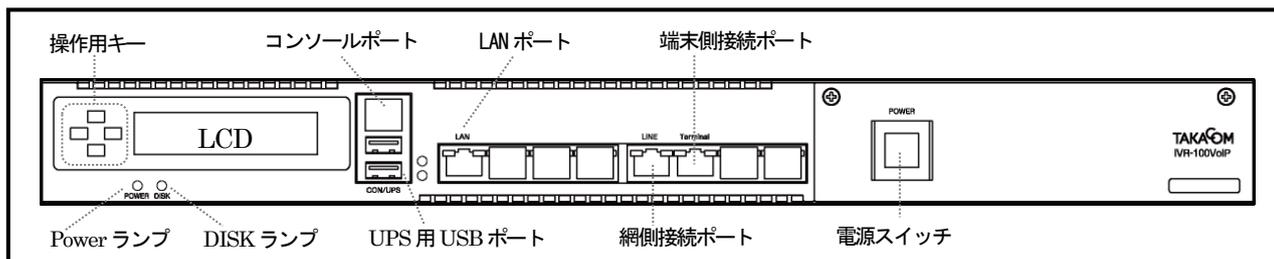
4. 3 IVR-24VoIP 仕様

No	項目	内容
1	收容可能 ch 数	最大 24ch(最大 ch を越える環境では、通話自体も動作保証外)
2	ランプ	POWER、Disk-Access、Status、LAN
3	初期化スイッチ	10 秒以上の長押し後にスイッチを離すと、自動的に再起動後 LAN ポートの IP アドレスが初期値「192.168.0.101」に戻ります
4	電源/消費電力	AC100V ±10V / 最大 60W
5	使用温湿度環境	動作時 温度：5～40℃、湿度：20～85%(ただし、結露なきこと)
		保管時 温度：-10～50℃、湿度：20～85%(ただし、結露なきこと)
6	外観寸法・質量	232(W) × 152(D) × 44(H)mm(突起物含まず) ・ 約 1.3kg
7	VCCI	class-A
8	RoHS 指令	適合

5. 製品外観・名称と説明

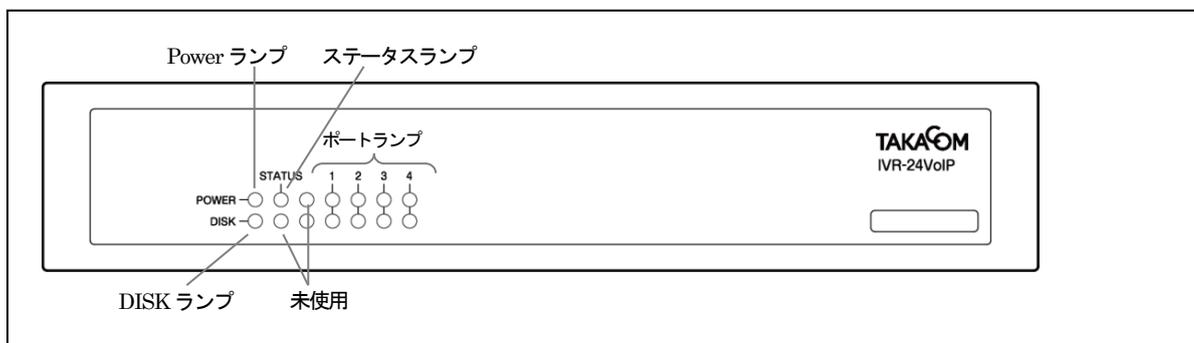
5. 1 筐体前面図

5. 1. 1 IVR-100VoIP



No	名称	表示	説明
1	操作キー		メニュー操作の上下左右キー
2	LCD 画面		メニューや装置状態などを表示
3	網側接続ポート	LINE	ONU からのケーブルを接続
4	端末側接続ポート	Terminal	下位端末からのケーブルを接続
5	LAN ポート	LAN	設定用に管理 PC 等を接続
6	コンソールポート及び UPS 用 USB ポート	CON/UPS	保守メンテナンス接続用シリアルコンソールポート UPS 接続用 USB ポート
7	POWER ランプ	POWER	電源ランプです 稼動時は点灯
8	DISK ランプ	DISK	ディスクアクセスランプです アクセス時のみ点灯
9	電源スイッチ	POWER	電源スイッチです。電源断には通常管理メニューから停止処理を行ってください 本スイッチで停止した場合、ひかり電話オフィスA（エース）の「故障・回復通知機能」 「一括転送機能」サービス利用時には、一部動作が異なります。詳細は「17. 故障・回復 通知機能、一括転送機能サービスの利用について」（64 ページ）を参照してください

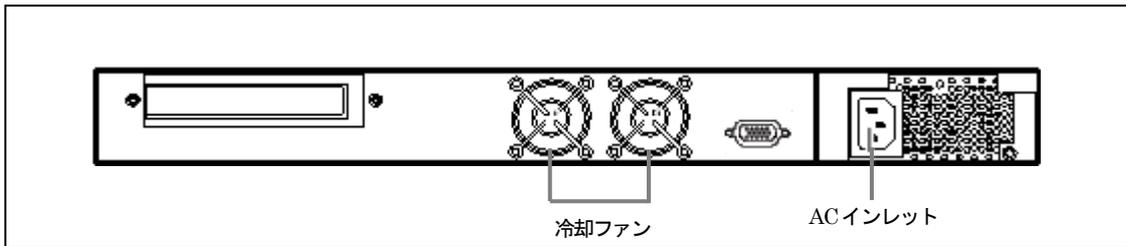
5. 1. 2 IVR-24VoIP



No	名称	表示	説明
1	ステータスランプ	STATUS	起動後正常時：点灯 障害時：0.5 秒間隔で点滅 (管理画面からアラームの削除を行うまで点滅したままとなります)
2	LAN ポートランプ	1	上段：通信速度(1000BASE：赤、100BASE：緑、10BASE(動作保証外)：消灯) 下段：ACT ランプ(通信時に点灯)
3	ネットワークポート ランプ	2	未使用
4	網側接続ポートランプ	3	上段：通信速度(1000BASE：赤、100BASE：緑、10BASE(動作保証外)：消灯) 下段：ACT ランプ(通信時に点灯)
5	端末側接続ポートランプ	4	上段：通信速度(1000BASE：赤、100BASE：緑、10BASE(動作保証外)：消灯) 下段：ACT ランプ(通信時に点灯)
6	POWER ランプ	POWER	電源ランプ(稼動時は点灯)
7	DISK ランプ	DISK	ディスクランプ(アクセス時のみ点灯)

5. 2 筐体背面図

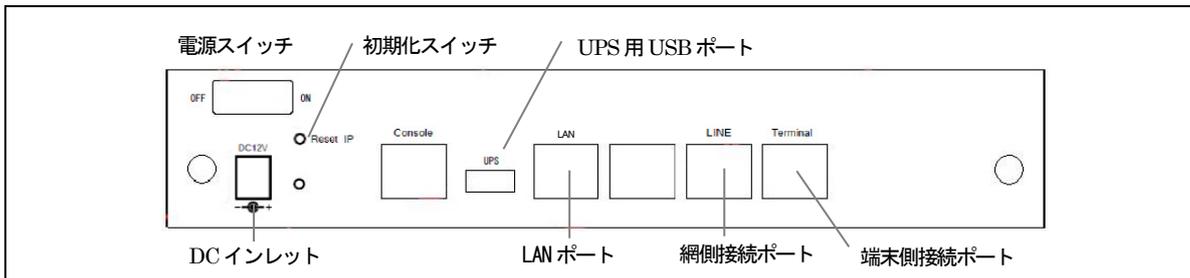
5. 2. 1 IVR-100VoIP



No	名称	説明
1	冷却ファン	装置冷却用のファン
2	AC インレット	付属の 3P の電源コードを接続します (※)

※本製品に付属の電源コード以外を接続しないでください。

5. 2. 2 IVR-24VoIP



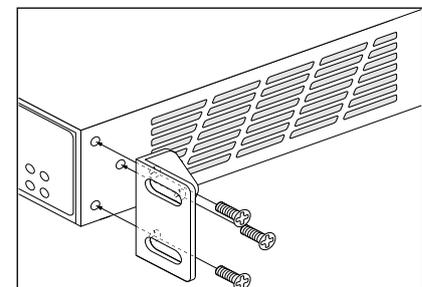
No	名称	表示	説明
1	網側接続ポート	LINE	ONU からのケーブルを接続します
2	端末側接続ポート	Terminal	下位端末からのケーブルを接続します
3	LAN ポート	LAN	設定用に管理 PC 等を接続します
4	コンソールポート	Console	保守メンテナンス接続用シリアルコンソールポート
5	DC インレット	DC+12V	付属の AC アダプタを接続します (※)
6	UPS 用 USB ポート	UPS	UPS 接続用 USB ポート
7	初期化スイッチ	Reset IP	10 秒以上の長押し後にスイッチを離すと、再起動後以下ようになります ・メンテナンスポートの IP アドレスが初期値(192.168.0.101)に戻ります ・GW アドレスが初期値(空欄)に戻ります(他ネットワークとの接続は出来なくなります) 10 秒未満で離れた場合は何も動作しません
8	電源スイッチ		必ず管理メニューから停止処理を行ってから電源を切断して下さい

※本製品に付属の AC アダプタ以外を接続しないでください。

5. 3. 19 インチラックマウントについて(IVR-100VoIP のみ)

IVR-100VoIP のみ 19 インチラックマウントに対応しています。
 筐体前面側の両側面に、ラックマウント金具取り付けネジ穴があります。
 付属のネジ(M3)を用いて、本体と金具を固定してください。

※19 インチラックへの固定ネジは、別途ご用意ください。(M6)
 ※添付の 19 インチラックマウント金具のみでは本装置の重量を支える事ができませんので必ず、棚板や L 型アングル等をご用意ください。



6. 機能

ひかり電話からの着信に対して、音声ガイダンスの再生、プッシュボタン入力、伝言録音、端末呼出等の制御を行います。音声応答機能には、プッシュボタン入力による各種機能の階層化が可能な多階層モデルと、階層化が不可の単階層モデルがあります。各種設定や操作は全て管理画面から行ないます。

6. 1 Web 管理機能

本装置は LAN ポートに接続した管理 PC の Web ブラウザ経由でログインし各種設定を行います。

対応ブラウザは Internet Explorer 11 です。

ログインアカウント権限を 3 種類用意しており、設定・参照できる内容が異なります。

ログインアカウント権限別機能一覧

機能	ログインアカウント権限		
	一般	工事者	管理者
ホーム	○	○	○
発着信の履歴	○	○	○
伝言録音	○	○	○
着信規制	×	△(制限有り)	○
発信規制 (※1)	×	△(制限有り)	○
通話録音用音声管理装置連携	-(使用しません)	-(使用しません)	-(使用しません)
通話録音 (※2)	○	○	○
ログインID 登録	×	×	○
電話番号の設定	×	○	○
休日カレンダーの登録	×	○	○
音声ガイダンスの登録	×	○	○
伝言録音ガイダンスその他	×	○	○
保留とガイダンス	×	○	○
着信メイン処理	×	○	○
プッシュボタン処理	×	○	○
端末呼出し	×	○	○
外線転送	×	○	○
システムの状態表示	×	○	○
ネットワーク	×	○	○
設定データ	×	○	○
システムログとアラーム表示	×	○	○
バージョンアップ	×	○	○
ライセンス	×	○	○
システムの再起動	×	○	○

※1 別途ライセンスが必要

※2 録音ありのチャンネルライセンスで対応

6. 2 着信規制機能

登録された電話番号からの着信を自動的に切断処理することが可能です。
最大 30 万件の電話番号(10 桁以上～20 桁以下)を登録する事ができます。

6. 3 着信機能

ひかり電話からの着信時の応答を以下の動作から選択することができます。

動作	機能	対応モデル
カレンダー機能	最大 100 件のカレンダー登録が可能です。1 カレンダーあたり 150 日登録可能	全モデル
着信グループ動作	着信グループに着信電話番号を登録させ、着信グループ毎に個別の動作を設定することができます	全モデル
再生&呼出	ひかり電話からの着信に応答後、音声ガイダンスの再生を行い、再生完了後に「呼出」動作を行います 音声ガイダンスが登録されていない場合は、音声ガイダンスは再生されませんが「呼出」動作は行われず 下位端末呼出時は着信時の着信電話番号で下位端末を呼出します	全モデル
再生&切断	ひかり電話からの着信に応答後、音声ガイダンスの再生を行い、再生完了後に「切断」動作を行います 音声ガイダンスが登録されていない場合は、音声ガイダンスは再生されませんが「切断」動作は行われず 下位端末呼出時は着信時の着信電話番号で下位端末を呼出します	全モデル
透過呼出	ひかり電話からの着信時に、自動応答せずに下位接続端末に対して呼出動作を行います	全モデル
端末呼出し	端末側回線に接続されている下位端末の呼出を行います 着信時の着信電話番号のまま下位端末の呼出や、任意の着信電話番号で下位端末の呼出が可能です 下位接続端末の呼出しが失敗した場合の動作を指定することができます。	全モデル
外線転送	着信呼を外線に転送します。 なお転送時の転送元は、通話を掛けてきた相手ではなく、本装置に接続された回線が発信元となります。	全モデル
伝言録音	ひかり電話からの着信に応答後、伝言録音を行います 動作実行時には「ピッ」という発信音の後から音声録音されます 録音時間は 60 秒、120 秒(初期値)、180 秒から選択可能とし、録音時間の満了か録音中に#ボタンの入力で録音終了となります。(録音中に回線切断の場合も録音終了となります)	全モデル
プッシュボタン処理	自動応答後、選択信号(DTMF)待ち用の音声ガイダンスを再生するとともに、プッシュボタン(DTMF)の入力を受け付けます 入力可能プッシュボタンは 0～9 で、入力されたプッシュボタンに応じて、選択された動作を起動します	多階層モデル
切断	動作終了として回線を切断します	全モデル

待機時間を設定することで、動作を起動する前に待機させることも可能です。

待機時間を設定した場合は、ひかり電話からの着信後、待機時間経過後に選択された動作を起動します。

6. 4 発信規制機能(発信規制ライセンス導入時のみ)

下位接続端末からの規制対象に登録された電話番号への発信要求に対して、発信規制ガイダンスを 2 回再生し、再生完了後に通話切断します。

※対応ライセンス：発信規制ライセンス(IVR-C-CL)

6. 5 通話録音機能(録音ありのチャネルライセンス導入時のみ)

お客様との通話を録音します。ただし通話録音機能は通話時のみです。IVR 応答や伝言録音動作時、通話録音は行なわれません。

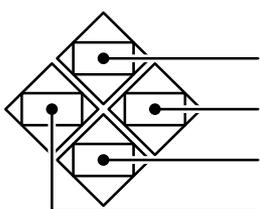
動作	機能	対応
通話録音	お客様との通話を録音します。本装置上で検索・再生を行います。約 1,200 時間分の通話録音が可能です。 65 日間装置内に保存され 65 日を経過した音声ファイルは日付フォルダ毎に削除されます もしくは毎朝 4:00 時点でディスクの使用量が 90%超えの場合、80%以下になるまで古い日付フォルダを削除します	単階層／ 多階層モデル
録音データ共有	通話録音で作成した音声ファイルを共有フォルダにて公開可能です	録音ありのチャネル ライセンス導入時

※対応ライセンス：単階層チャネルライセンス録音あり(IVR-AR-CL4)、多階層チャネルライセンス録音あり(IVR-BR-CL4)

6. 6 液晶パネル機能(IVR-100VoIPのみ)

IVR-100VoIP は前面の LCD とキー操作で装置状態の確認や、停止操作・再起動操作ができます。

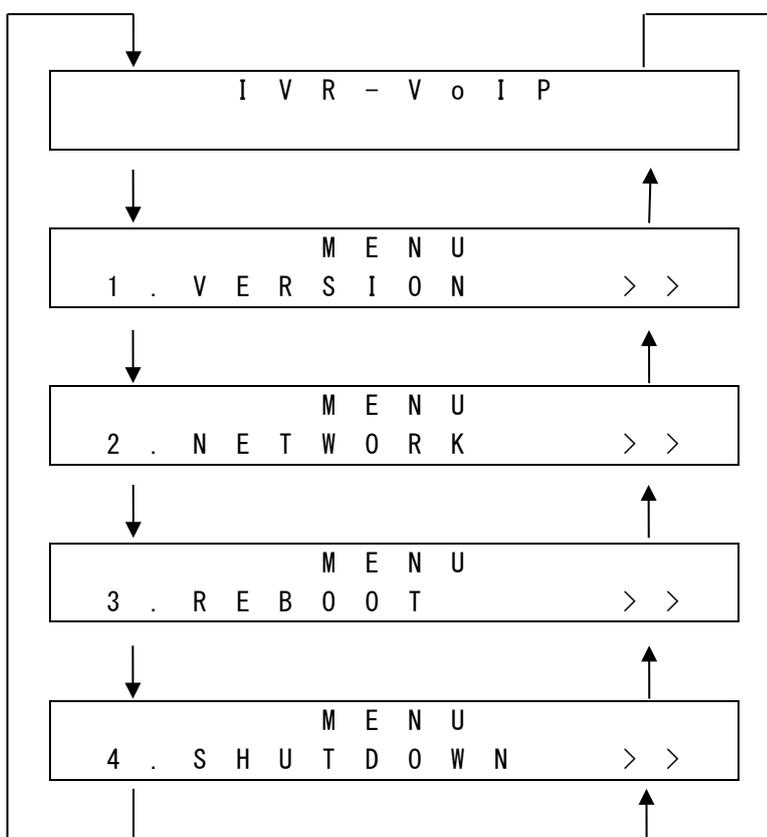
- (1)バージョンの確認
- (2)装置の IP アドレスの確認
- (3)装置の再起動
- (4)装置の停止

	No	キー名称	機能
	1	「上」キー	操作メニューの変更
	2	「右」キー	装置の操作モード開始/決定
	3	「下」キー	操作メニューの変更
	4	「左」キー	装置の操作モード終了/キャンセル



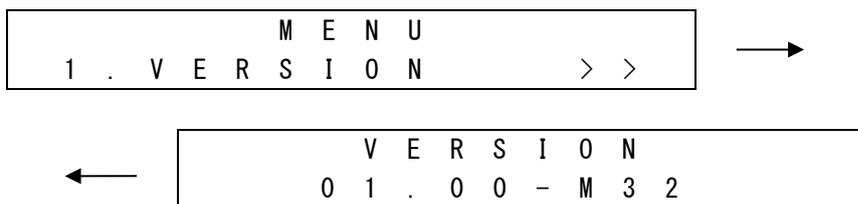
注意 本装置のキーは誤操作防止の為、若干長押し気味に押す必要があります。

6. 6. 1 液晶パネル機能メニュー



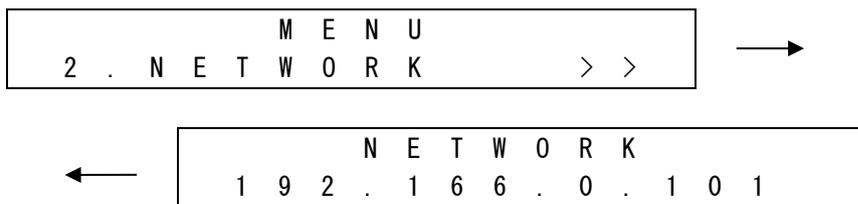
6. 6. 2 バージョン表示

システムバージョンとライセンス内容を表示します。



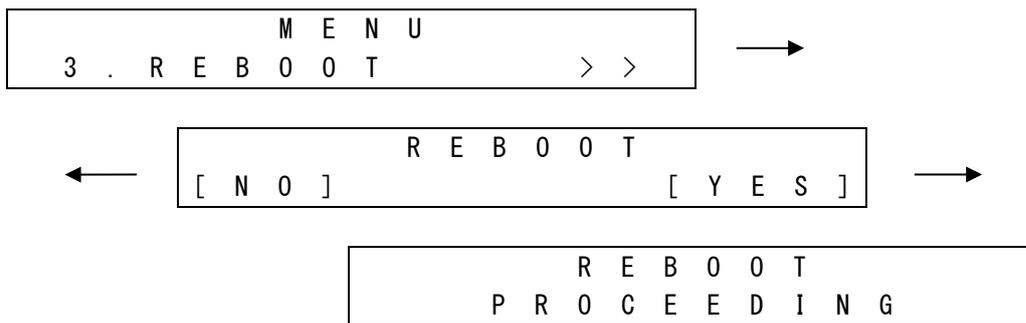
6. 6. 3 ネットワーク表示

LAN ポートの IP アドレスを表示します



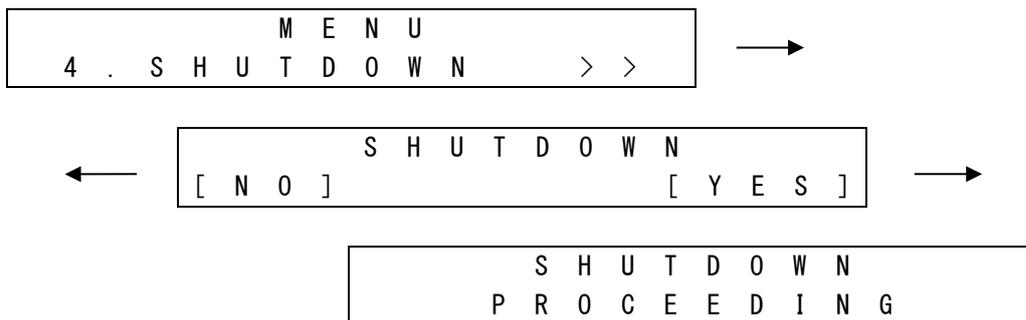
6. 6. 4 装置再起動

装置の再起動を実行します



6. 6. 5 装置停止

装置を停止させます



6. 6. 6 アラーム表示

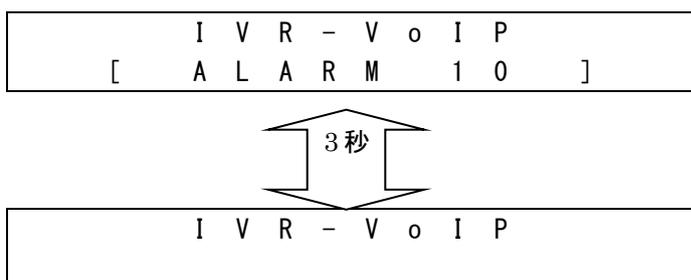
アラームが発生した場合、トップメニューに強制遷移しアラーム番号が表示されます。

その後は3秒ごとに通常表示とアラーム表示が切り替わります。

アラームが複数発生している場合は最初のアラーム番号のみ表示されます。

アラームが表示されている場合でもメニュー機能は操作可能です。その場合は、再度手動でトップメニューに戻った場合のみアラーム表示に切り替わります。管理画面からアラームの削除を行うまでアラーム表示は消えません。

アラーム発生時の対応については「12. 2 システムログの取得とアラーム表示」(58 ページ)の【アラーム詳細】の対処方法を参照してください。



7. 設置および回線との接続

7.1 設置

本装置には筐体底面足用ゴムシートが添付されています。本体底面に貼り付け、安定した場所に設置してください。

IVR-24VoIP の DC インレット(AC アダプタ)の抜け防止の為に、添付の電源コード結束ベルトを使用してください。

IVR-100VoIP を 19 インチラックに設置する際はお客様にて棚板等をご用意の上、添付の 19 インチラックマウント金具を使用しラックに固定してください。添付の 19 インチラックマウント金具のみでは本装置の重量を支える事ができませんのでご注意ください。

	注意	筐体自体は重量物ですので、ラックマウントのみでの設置ではなく、必ず棚板やレールキットなどを併用してください。 ラックマウント金具は、固定にのみご利用ください。
	注意	側面の通気孔や、背面のファン部分を塞がないよう、ご注意ください。
	注意	重量物ですので、設置する環境によっては2名以上での作業が必要な場合があります。
	注意	この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求される事があります。
	注意	本装置には再起動が必要な設定があります。本装置が再起動すると下位端末の再起動が必要となる為、回線・下位端末との接続は、各種設定が終わってから接続してください。

7.2 装置の起動

IVR-24VoIP の場合：背面の電源スイッチを入れると起動を開始します。起動が完了すると「STATUS」LED が点灯します。

IVR-100VoIP の場合：コンセントに接続された直後、自動起動します。

停止処理による停止後に起動する場合、電源スイッチを押すと起動を開始します。

起動が完了すると LCD が「IVR-VoIP」となります。

起動完了まで約2分かかりますので Web 画面へのアクセス等は起動完了後に行ってください。

	注意	電源断した後に起動する場合、10 秒程度待った後に電源の再投入を行ってください。
---	-----------	--

7. 3 管理画面へのアクセス

管理画面にログインし各種設定や接続状態の確認を行います。
本装置の LAN ポートに接続された管理 PC からログインします。

管理 PC のブラウザからアドレス欄に「http://本装置の IP アドレス」を入力しログイン画面にアクセスします。
(工場出荷時の IP アドレスは 192.168.0.101 です)



■ ログインアカウントの初期設定値について

アカウント種別	ログイン ID(半角英数 最大 16 文字)	パスワード(半角英数 最大 16 文字)
工事者用	kouji	12345
管理者	admin	12345
	【注意】上記管理者 admin アカウントは、新たに1つでも管理者アカウントが登録された場合、自動的に使用できなくなります	
一般	未登録です 管理者権限でログインし任意のアカウントを作成してください	未登録です 管理者権限でログインし任意のアカウントを作成してください

7. 3. 1 ログイン

初回ログイン時は、管理者アカウントでログインします。
管理者アカウントが1つも登録されていない場合に限り
アカウント : admin(初期パスワード 12345)でログインできます。



ログイン後は以下のホーム画面が表示されます。



ライセンス情報を含むシステムバージョンが表示されます。

7. 3. 2 ログアウト

ブラウザを閉じるかブラウザ右上にある **ログアウト** ボタンを押してログアウトしてください。



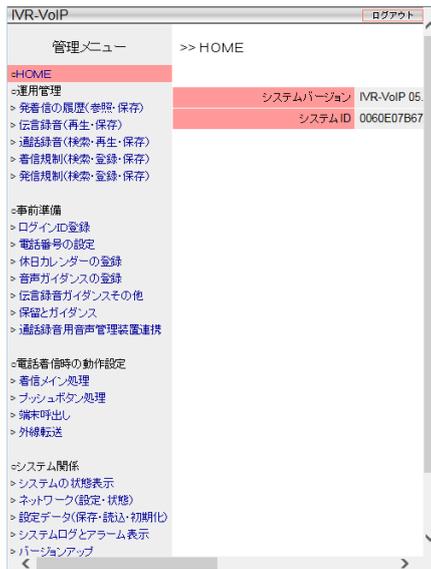
(一定時間操作がないと画面ロック処理されます。ログアウト後再ログインしてください)

7. 3. 3 ログインアカウント権限による管理メニューの違い

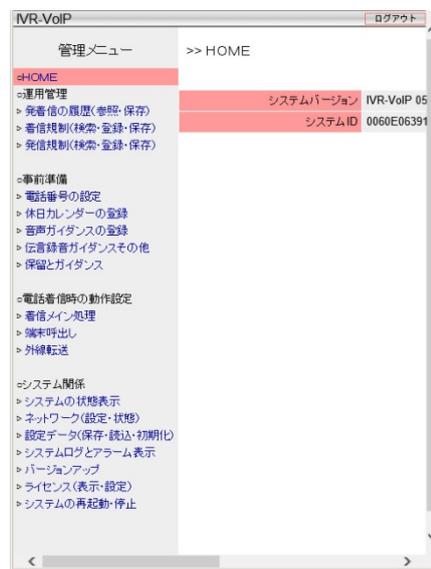
ログインアカウント毎に権限が異なるため、管理メニューもそれぞれ異なります。

権限毎に以下のような管理メニューとなります。本書では主に管理者権限での画面を例として説明します。

【管理者権限】



【工事者権限】

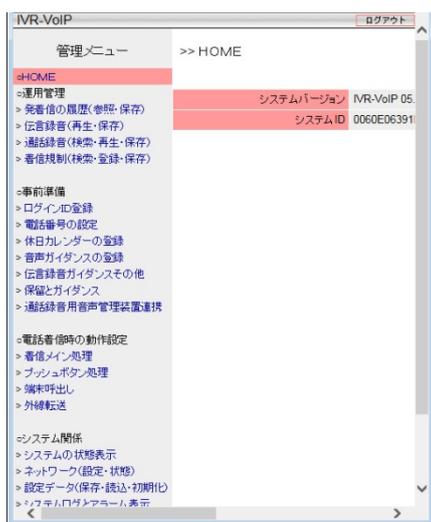


【一般権限】



※ 画面は「発信規制ライセンス：あり」、「通話録音ライセンス：あり」の場合の例

【管理者権限】



※ 画面は「発信規制ライセンス：なし」、「通話録音ライセンス：あり」の場合の管理者権限の例

7. 4 各種接続

本装置には3本のLANケーブルが接続されますがLANケーブルはカテゴリ5以上のケーブルを使用してください。LINEポートに接続するケーブルやTerminalポート、LANポートに接続されたケーブルは、差し直す時のために必ずそれぞれが識別できるようにシール等を貼ってください。設置時はONUと下位端末とが切断されますので、通話が出来なくなりますので通話の無い時間帯を選んで接続を行ってください。

接続の手順概略は以下の通りです。

【手順1】7. 4. 1 管理PC(クライアントPCや別売の音声管理装置)との接続を行う。

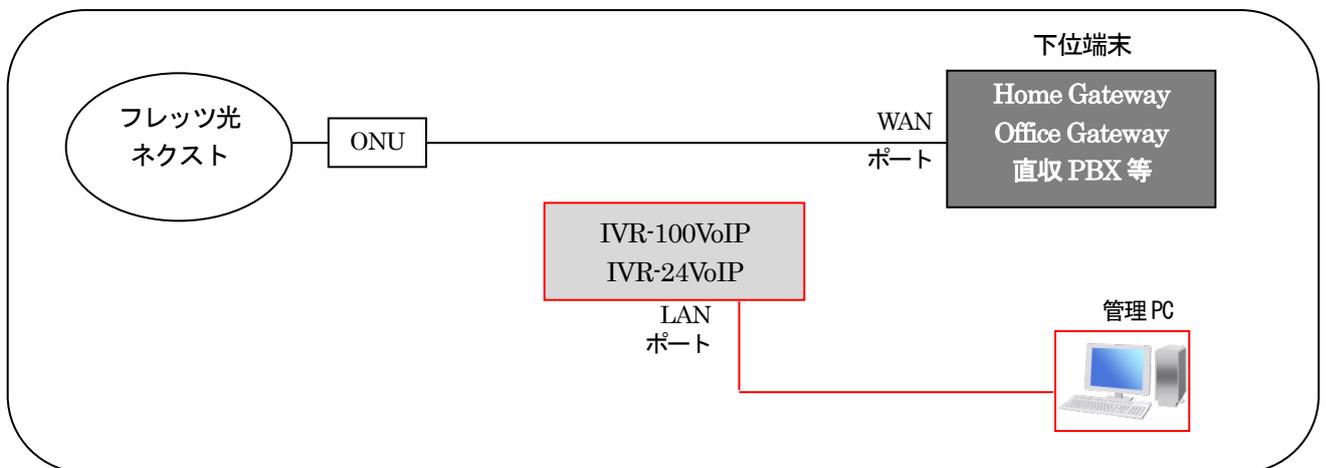
【手順2】7. 4. 2 フレッツ光ネクスト回線との接続を行う。

【手順3】7. 4. 3 下位端末側の接続と起動を行う。

【手順4】7. 4. 4 通話状態の確認を行う。

7. 4. 1 管理PCとの接続

回線への接続前に管理PCと接続し設定を行います。本装置のLANポートに管理PCを接続します。



【手順1】本装置のLANポートと管理PCをネットワーク接続後、本装置を起動し起動完了まで約2分待ちます。

【手順2】ブラウザからアドレス欄に「http://本装置のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.101)」を入力しログイン画面にアクセスし、管理者用アカウントでログインします。
管理者アカウントが1つも追加登録されていない場合に限り admin(初期パスワード 12345)でログインできます。

【手順3】Webのシステム状態画面にて「Maintenanceリンク状態」(LANポート状態)がリンクアップになっている事を確認します。

IVR-VoIPのシステム状態画面のスクリーンショット。左側には管理メニューがあり、右側にはシステム関係のシステム状態表示とネットワーク状態が表示されている。Maintenanceリンク状態がリンクアップになっていることが確認できる。

■システム状態	
システム時刻	2019/04/27 14:44:25
ディスク使用率	3%

■ネットワーク状態	
LINEリンク状態	リンクダウン
LINEリンク速度	
Terminalリンク状態	リンクダウン
Terminalリンク速度	
Maintenanceリンク状態	リンクアップ
Maintenanceリンク速度	1000Mb/s Full



注意

接続ポートを間違えると発信・着信通話ができない・管理画面にアクセスできない現象が発生しますのでご注意ください。

7. 4. 2 フレッツ光ネクスト回線との接続

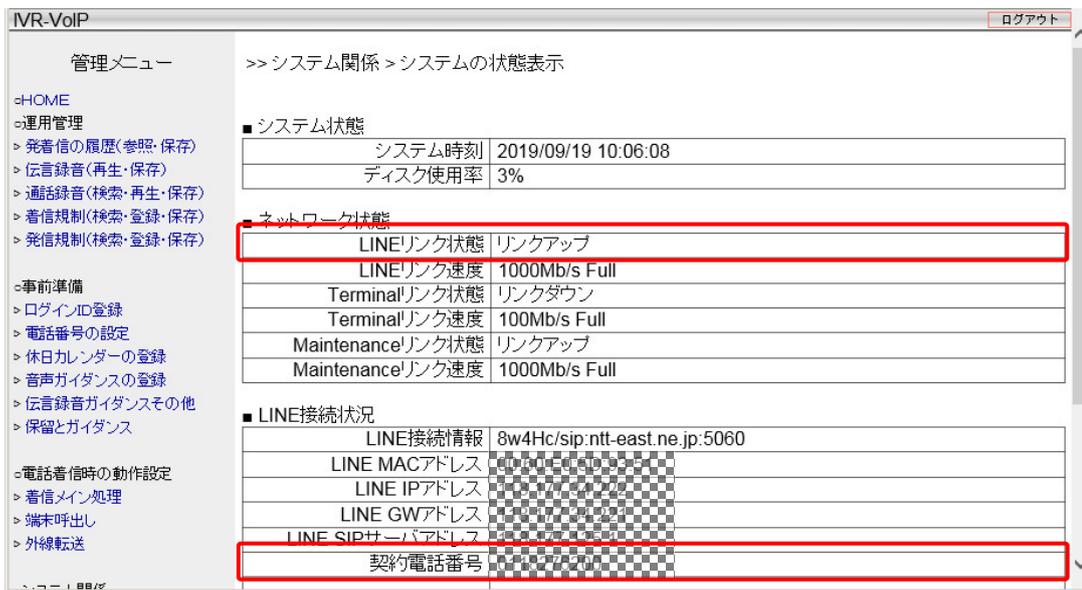
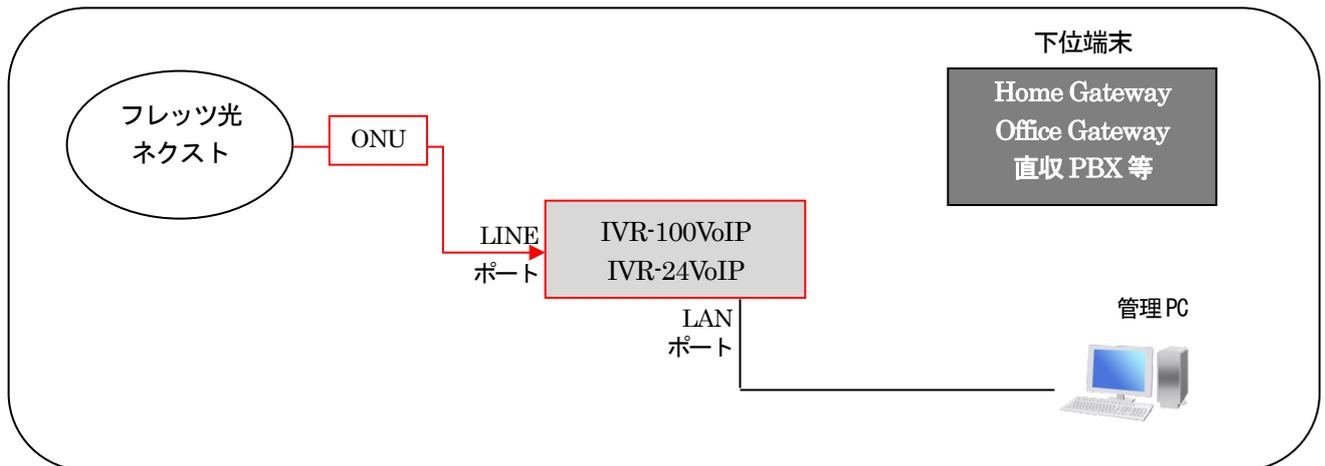
フレッツ光ネクスト回線との接続手順を以下に示します。

【手順1】本装置のLINEポートとONUをLANケーブル(ストレート)で接続します。

【手順2】管理メニューの「システムの状態表示」画面から「LINEリンク状態」がリンクアップになっている事を確認します。

【手順3】接続から2~3分待ち、回線契約内容に従った契約電話番号が表示されていることを確認します。

【手順4】以下の正常性確認が出来ない場合は本装置の電源停止後、再起動を試みてください。



正常確認

管理メニューの「システムの状態表示」画面から、以下の状態であれば正常です。

- ・LINEリンク状態が「リンクアップ」になっていること。
- ・契約番号が正しく表示されていること。



注意

機器の起動順を間違えると機器がネットワークを正常に認識出来ず通話ができませんのでご注意ください。

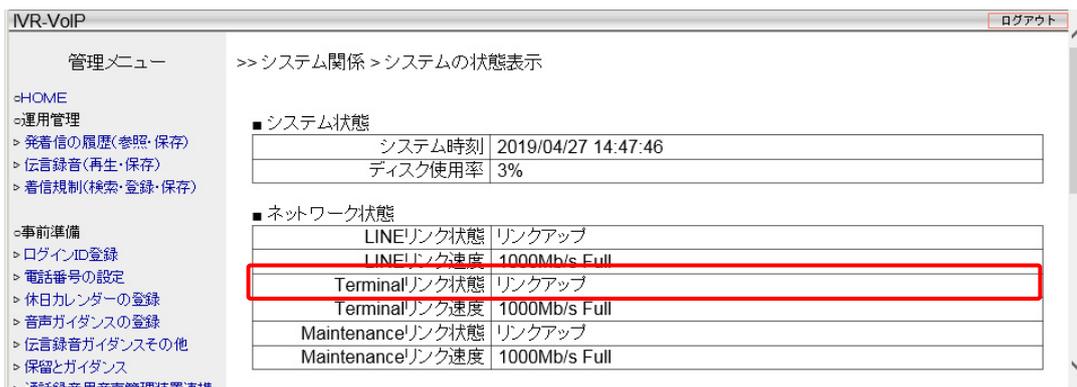
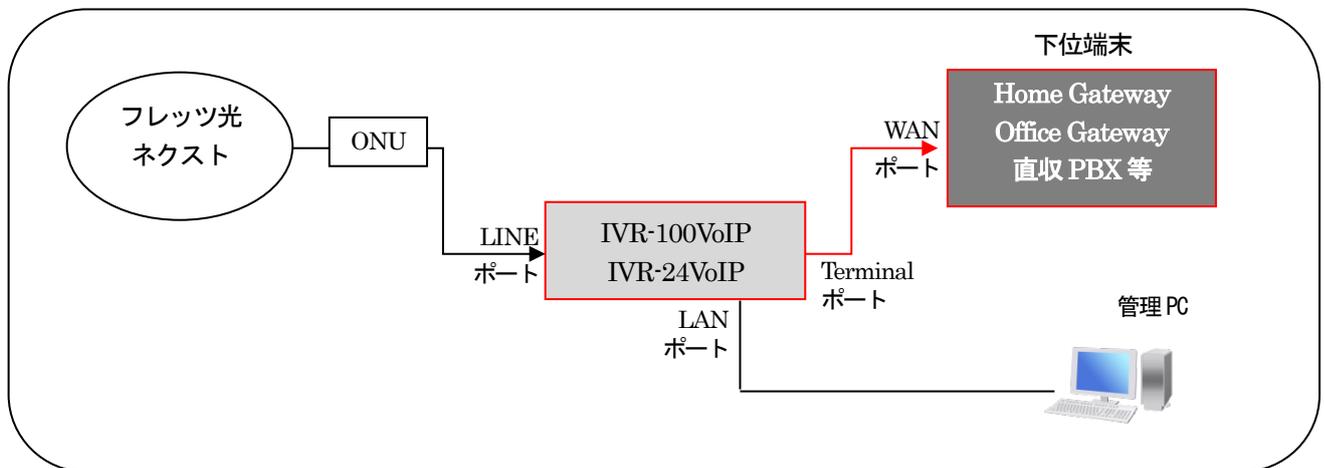
LINEリンク状態が「リンクアップ」にならない場合、ケーブル不良・接続ポート間違いの可能性があります。

ホームゲートウェイがONU一体型の場合は、ONU分離型への交換工事を東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社へご相談してください。

7. 4. 3 下位端末の接続と起動

下位端末との接続手順を以下に示します。

- 【手順 1】 下位端末が電源 OFF の状態で WAN ポート(ONU と接続されていたポート)と本装置の Terminal ポートを、LAN ケーブル(ストレート)で接続します。
- 【手順 2】 本装置の起動完了(管理メニューの「システムの状態表示」画面内の契約電話番号・追加電話番号が表示される)を待ち下位端末を起動します。
- 【手順 3】 管理メニューの「システムの状態表示」画面から「Terminal リンク状態」がリンクアップになっている事を確認します。
- 【手順 4】 2~3 分待ち、下位端末の回線接続状況を確認します。
 - 【Home Gateway の場合】 「ひかり電話」ランプが点灯していること。
 - 【Office Gateway の場合】 「VoIP」ランプが点灯していること。
- 【手順 5】 以下の正常性確認が出来ない場合、下位端末の再起動を試みてください。



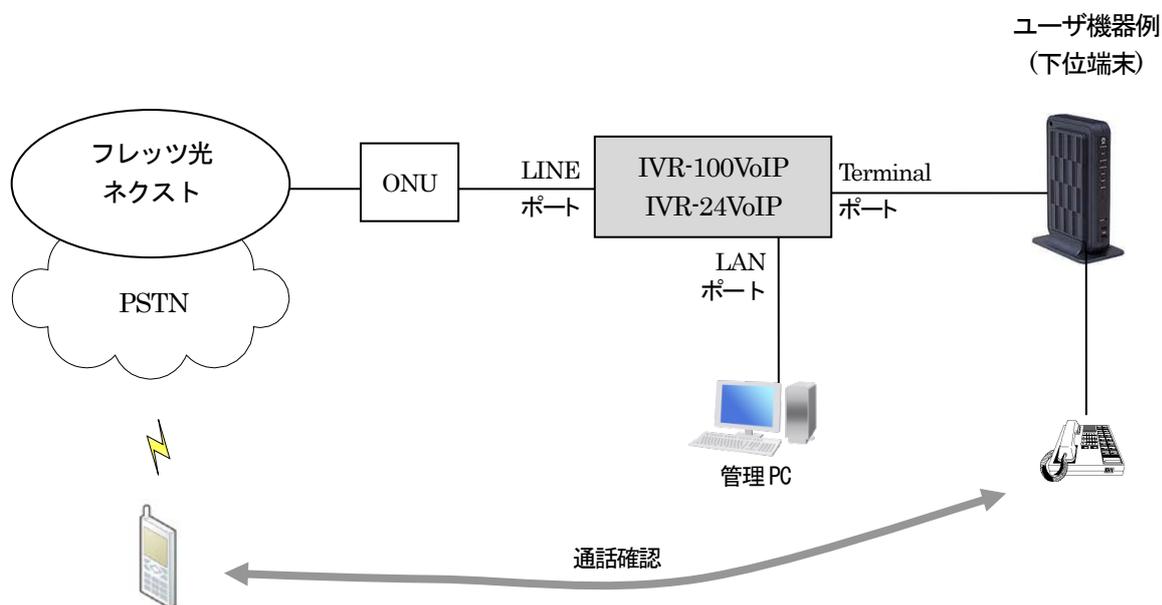
正常確認 管理メニューの「システムの状態表示」画面で Terminal リンク状態が「リンクアップ」になっていること。
接続される下位端末がホームゲートウェイ(HGW)の場合は「ひかり電話」ランプが点灯していること。
接続される下位端末がオフィスゲートウェイ(OGW)の場合は「VoIP」ランプが点灯していること。

注意 機器の起動順番を間違えると、機器がネットワークを正常に認識出来ず通話ができませぬのでご注意ください。
Terminal リンク状態が「リンクアップ」にならない場合、ケーブル不良・接続ポート間違いの可能性が有ります。

7. 4. 4 通話状態の確認

外線一下位端末間の通話の確認を行います。

携帯電話から当該フレッツ光ネクスト回線の契約電話番号に電話をかけ、下位端末が呼出されることを確認します。呼出された端末にて応答し、通話の確認を行います。



注意

接続ポートを間違えると発信・着信通話ができない・管理画面にアクセスできない現象が発生しますのでご注意ください。

8. 装置の起動・停止・再起動

8. 1 装置の起動

IVR-24VoIP の場合：背面の電源スイッチを入れると起動を開始します。起動が完了すると「STATUS」LED が点灯します。

IVR-100VoIP の場合：コンセントに接続された直後、自動起動します。

停止処理による停止後に起動する場合、電源スイッチを押すと起動を開始します。

起動が完了すると LCD が「IVR-VoIP」となります。

起動完了まで約 2 分かかりますので Web 画面へのアクセス等は起動完了後に行ってください。



注意 電源断した後に起動する場合、10 秒程度待った後に電源の再投入を行ってください。

8. 2 装置の停止

本装置は、停止の際に管理画面から「停止操作」を必要とします。

以下に記載した正しい手順で装置の停止を行なってください。



注意

ひかり電話オフィス A (エース) の「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスを利用して、装置の故障検知と故障検知時の一括転送をご利用の場合は、本製品の LINE ポートに接続されたケーブルを外してから停止処理を行ってください。

上記処理を行わず停止操作を行うと上記の「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスが利用できません。



注意

停止操作をしないまま電源を切ると、システムディスクのクラッシュ等による起動障害を引き起こす恐れがありますのでご注意ください。

8. 2. 1 Web ブラウザからの停止

【手順 1】管理メニューの「再起動・停止」画面から、「停止」にチェックを入れて **実行** ボタンを押します。

【手順 2】以下のダイアログが表示されます。

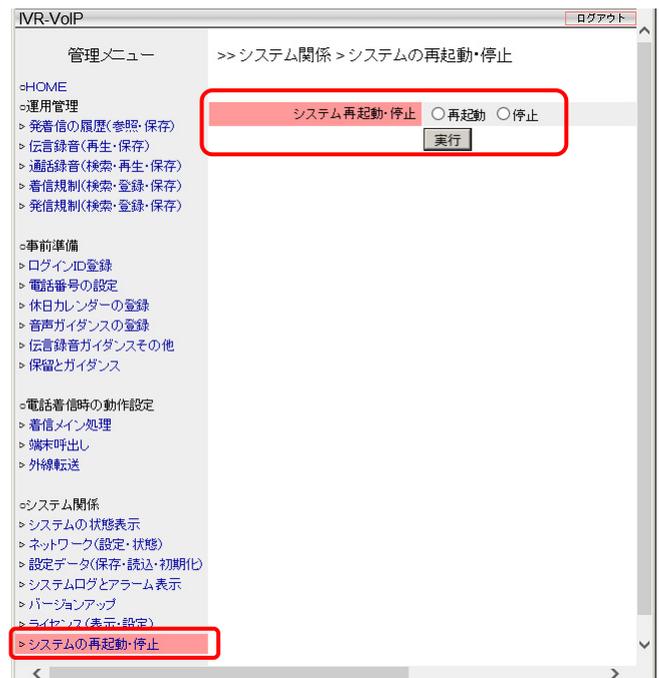


OK ボタンを押すと

- ・IVR-100VoIP の場合、電源が自動的に切れます。
- ・IVR-24VoIP の場合、POWER ランプが消灯します。
(POWER ランプ消灯後、コンセントを抜いてください)

停止により通話中の通話は切断されます。

またその際は下位端末の再起動が必要となりますのでご注意ください。



8. 2. 2 パネル操作からの停止(IVR-100VoIP のみ)

IVR-100VoIP はパネル操作により停止も可能です。パネル操作による停止操作手順を以下に示します。

手順	液晶の状態
1. LCD が「IVR-VoIP」となっている事を確認	IVR-VoIP
2. 下キーを 4 回押し右の画面を表示させる	MENU 4.SHUTDOWN >>
3. 右キーを押し以下の画面を表示させる	SHUTDOWN [NO] [YES]
4. 右キーを押し以下の画面を表示させる	SHUTDOWN PROCEEDING
5. 電源が自動的に切れるのを待つ	

8. 2. 3 装置停止時の注意事項

本装置の電源断時には LINE ポートと Terminal ポートが自動的にバイパスされ、下位端末が直接 ONU に物理接続される形になります。ただし本装置の運用中から電源断にて接続が ONU と下位端末の直結状態に切り替わった場合、下位端末はすぐには通信可能な状態にはなりません。装置を停止した場合は Terminal ポートに接続した下位端末の再接続が必要になります。本装置の網側の物理的な接続の確認後、下位端末の再起動を行います。

【Home Gateway 利用時】 「ひかり電話」ランプの点灯後に通話確認を行う。

【Office Gateway 利用時】 「VoIP」ランプの点灯後に通話確認を行う。

上記ランプの点灯後、発着信の通話を確認してください。

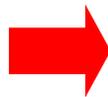
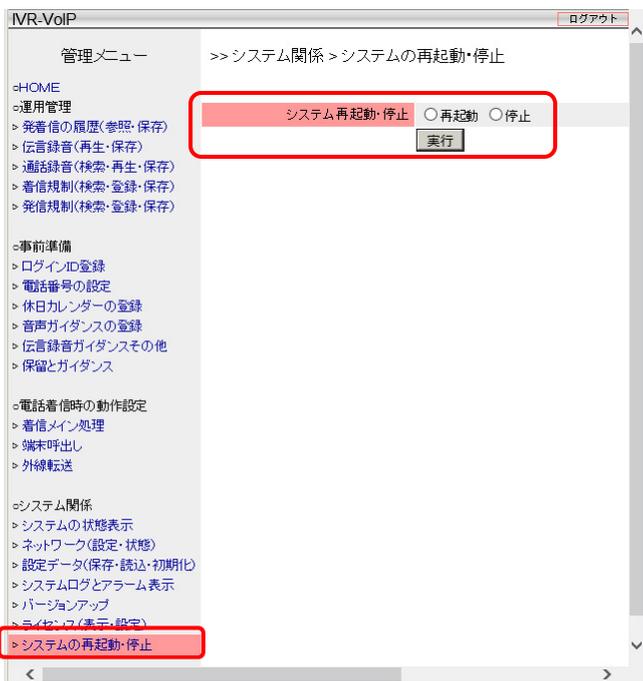

注意
 Home Gateway や Office Gateway では電源 OFF-ON にてフレッツ光ネクスト回線への接続要求動作が行われますが、直収 PBX などの下位端末の再起動については交換機設置業者にお問合せください。

8. 3 装置の再起動

8. 3. 1 Web ブラウザからの再起動

管理メニューの「システムの再起動・停止」画面から、「再起動」を選択して **実行** ボタンを押します。

確認ダイアログで **OK** を押すことにより再起動が実行されます。約 130 秒後にログイン画面が表示されます。



(再起動により通話中の通話は切断されます。また下位端末の再起動が必要となりますのでご注意ください)

8. 3. 2 パネル操作からの再起動(IVR-100VoIP のみ)

IVR-100VoIP はパネル操作により再起動も可能です。

パネル操作による再起動手順を以下に示します。

手順	液晶の状態
1. LCD が「IVR-VoIP」となっている事を確認	IVR-VoIP
2. 下キーを 3 回押し右の画面を表示させる	MENU 3.REBOOT >>
3. 右キーを押し以下の画面を表示させる	REBOOT [NO] [YES]
4. 右キーを押し以下の画面を表示させる	REBOOT PROCEEDING
5. LCD 画面に「IVR-VoIP」と表示されるのを待つ	

8. 3. 3 再起動時の注意事項

■フレッツ光ネクスト回線側の注意事項

本装置の再起動を行うと、本装置はフレッツ光ネクスト回線に対して初期接続手順を実行します。フレッツ光ネクスト回線側にとっては改めて端末が接続される形となるため、特に注意事項はありません。

「[7. 4. 2 フレッツ光ネクスト回線との接続](#)」(21 ページ) を参照しフレッツ光ネクスト回線側の接続完了を確認した後、以下に示す下位端末の再接続を行います。

■下位端末側の注意事項

本装置の再起動を行った場合 Terminal ポートに接続した下位端末からフレッツ光ネクスト回線への再接続要求動作が必要になります。

本装置のフレッツ光ネクスト回線側の接続確認後、「[7. 4. 3 下位端末の接続と起動](#)」(22 ページ) を参照し下位端末の再起動を行い、発着信通話が可能か確認してください。



注意

下位端末からフレッツ光ネクスト回線側への再接要求動作を行わせるには多くの場合、端末の再起動が必要となります。

Home Gateway や Office Gateway では電源 OFF-ON にてフレッツ光ネクスト回線への接続要求動作が行われますが、直収 PBX などの下位端末の再起動については交換機設置業者にお問合せください。

9. 環境設定

■クライアント PC の動作環境について

本システムでクライアント PC としてご使用いただくパソコンの動作環境は以下のとおりです。

OS ※日本語版対応 (※ 1)	(Microsoft) Windows 10 Home/Pro/Enterprise Windows 8.1 (無印) /Pro/Enterprise Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate SP1
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
ネットワーク	100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ (TCP/IP で LAN、WAN 接続ができること)
サウンド	音声の再生機能があること (※2)
Web ブラウザ	Internet Explorer 11 (※3)

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

(※1) Windows RT 8.1 および Windows 10 (S モード) は対象外となります。

(※2) 再生ソフトは Windows Media Player Ver.12 以降を推奨します。

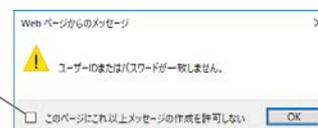
(※3) Windows 8.1 では、デスクトップアプリ版にのみ対応しています。



注意

クライアント PC の OS が Windows10 の場合、
Web ページからのメッセージにチェックボックス
が表示された場合は、チェックボックスにチェック
は付けしないでください。

チェックを付けないで
ください。



■手順概要

設定項目によっては本装置及び下位端末の再起動が必要な場合もありますので、各種設定は出来るだけ通話の少ない業務時間外に行ってください。以下に手順フローを示します。

【1】 ログイン ID 登録

ブラウザ経由でログインする為のアカウント登録を行います。



【2】 ネットワーク設定

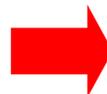
ご利用環境に合わせ LAN ポートの IP 設定を行います。



【3】 着信番号および着信グループの設定

本装置は着信グループ番号毎に特定の動作をさせる事ができます。特定の動作をさせたい着信番号がある場合、その電話番号を着信グループ番号に登録します。

※全ての着信に対して同一の動作を設定する場合、着信グループの登録は不要です。



【4】 休日カレンダーの設定

年末年始・夏季休暇・祝日登録など利用環境に合わせた特定日設定を行います。カレンダー設定を行うことにより、複数の特定日に対して任意の動作をさせることができます。

※カレンダー機能を利用しない場合、カレンダー登録は不要です。



【5】 音声ガイダンスの登録

本装置で再生する音声ガイダンスを登録します。



【6】 伝言録音設定

担当者不在時などオペレータ未応答時に伝言録音する場合の設定や通話録音に関する設定を行いません。



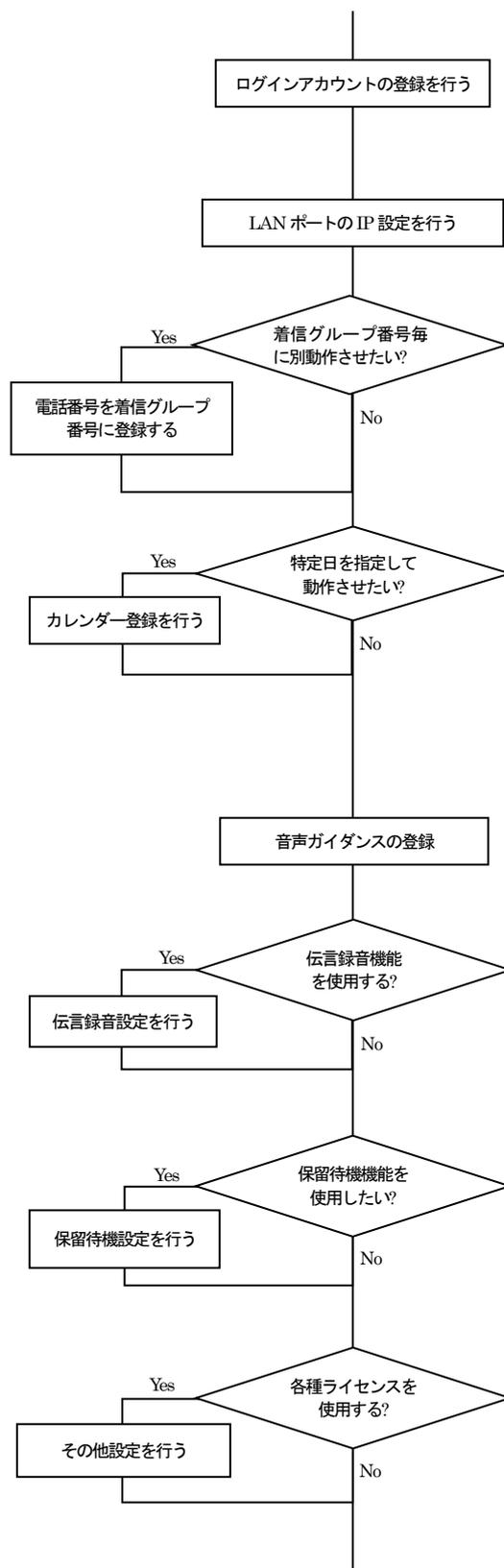
【7】 保留待機設定

お客様をお待たせしている間の音声ファイルの再生や保留音等の設定を行います。



【8】 その他設定(各種ライセンス導入時のみ)

各種ライセンス導入時の機能(通話録音機能・発信規制)の設定を行います。



9. 1 アカウントの管理

管理画面にログインする担当者毎に、ユーザ登録する必要があります。
ユーザの管理は管理メニューの「ログインIDの登録」画面から行います。

項目	内容
ログインID	半角英数 最大 16 文字
パスワード	半角英数 最大 16 文字
伝言 BOX	再生可能な伝言 BOX 番号を指定できます
電話番号	通話録音で録音された自番号の再生が可能です
管理者用 ログインID	<p>20 件まで登録可能 登録項目は「ID」「パスワード」 初期状態(管理者アカウント未登録)の場合は、「ID:admin/パスワード:12345」でログイン可能 ※1 つでも管理者アカウントが登録されると「ID:admin/パスワード:12345」は自動的に使用できなくなります 「通話履歴」「伝言録音」「音声録音」画面での全ての操作が可能</p>
工事担当者用 ログインID	<p>1 件のみ登録可能 登録項目は「ID」「パスワード」「伝言ボックス参照権限」「通話録音参照権限」 初期状態(工事担当者アカウント未登録)の場合は、「ID:kouji/パスワード:12345」でログイン可能ですが、その際は「伝言ボックス参照権限」および「通話録音参照権限」はありません 「発着信履歴」画面にて発着信履歴の設定および全削除は出来ません 伝言ボックス番号(ALL/00~99)を設定した場合のみ「伝言録音」画面の参照が可能です(未設定の場合は管理メニュー表示もなし) 「伝言録音」画面にて伝言録音ファイルの削除は出来ません 外線転送時の通話録音ファイルの参照には転送先番号を登録する必要があります 電話番号に ALL を設定した場合は全件参照可能となります 電話番号を設定した場合のみ「通話録音」画面の参照が可能です(未設定の場合は管理メニュー表示もなし) 「通話録音」画面にて通話録音ファイルの削除は出来ません 「通話履歴」「伝言録音」「音声録音」画面での保存権限はありません</p>
一般用 ログインID	<p>100 件まで登録可能 登録項目は「ID」「パスワード」「伝言ボックス参照権限」「通話録音参照権限」「保存権限」 「発着信履歴」画面にて発着信履歴の設定および全削除は出来ません 伝言ボックス番号(ALL/00~99)を設定した場合のみ「伝言録音」画面の参照が可能です(未設定の場合は管理メニュー表示もなし) 「伝言録音」画面にて伝言録音ファイルの削除は出来ません 外線転送時の通話録音ファイルの参照には転送先番号を登録する必要があります 電話番号に ALL を設定した場合は全件参照可能となります 電話番号を設定した場合のみ「通話録音」画面の参照が可能です(未設定の場合は管理メニュー表示もなし) 「通話録音」画面にて通話録音ファイルの削除は出来ません ライセンスにより通話録音機能がない場合、電話番号の設定は表示されません 保存権限を有りにした場合のみ「通話履歴」「伝言録音」「音声録音」画面での保存が可能</p>

9. 1. 1 管理者/工事者アカウントの登録

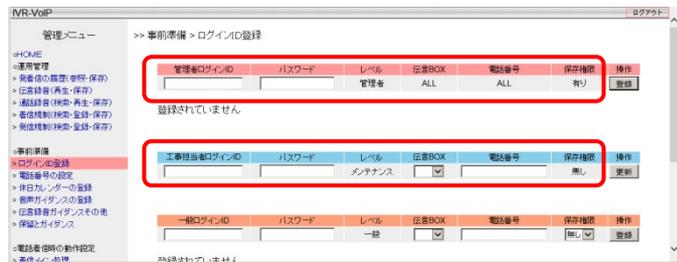
管理者/工事者用のアカウントを登録します。

ID とパスワードを入力し最後に **更新** ボタンを押します。

新規に管理者アカウントを作製すると、初期設定値管理者

「ID:admin/パスワード:12345」は利用できなくなります。

また全ての管理者用アカウントの削除は出来ません。



9. 1. 2 一般アカウントの登録

一般アカウント登録手順を以下に示します。

【手順 1】

管理メニューの「ログイン ID 登録」をクリックし新規登録するアカウント情報を入力後 **登録** ボタンを押します。



ログイン ID : 任意のログイン名(半角英数 最大 16 文字)

パスワード : 任意のパスワード(半角英数 最大 16 文字)

伝言ボックス : 伝言の再生を許可する伝言ボックス番号

※ ログイン ID とパスワードを同じにはできません。

【手順 2】

登録 ボタンを押すと、確認ダイアログが表示されますので **OK** を押すと、入力されたアカウントが登録され一覧に表示されます。



9. 1. 3 アカウントの削除

ユーザ削除手順を以下に示します。

【手順 1】

管理メニューの「ログイン ID 登録」をクリックし削除したいアカウントの **削除** ボタンを押します。



【手順 2】

削除 ボタンを押すと確認ダイアログが表示されますので、**OK** を押すとチェックされたアカウントが一覧から削除されます。



9. 2 ネットワーク設定

管理メニューの「ネットワーク(設定・状態)」画面からお客様環境に合わせたネットワーク設定を行ってください。

GW やネットワークアドレスを設定することで、LAN ネットワークとは別のネットワーク内の管理 PC からも管理画面やの通話録音共有フォルダにアクセス可能となります。

【注意】

ネットワーク設定変更を有効化するには本装置の再起動が必要となります。

再起動時は通話切断が発生し、下位端末の再起動(再接続要求)が必要となりますのでご注意ください。

○事前準備	Maintenance IPアドレス	192.168.0.101	/	24	▼
▷ログインID登録					
▷電話番号の設定	他ネットワーク接続GWアドレス				
▷休日カレンダーの登録	接続ネットワークアドレス1		/	24	▼
▷音声ガイダンスの登録	接続ネットワークアドレス2		/	24	▼
▷伝言録音ガイダンスその他	接続ネットワークアドレス3		/	24	▼
▷保留とガイダンス	接続ネットワークアドレス4		/	24	▼
○電話着信時の動作設定	接続ネットワークアドレス5		/	24	▼
▷着信メイン処理	接続ネットワークアドレス6		/	24	▼
▷端末呼出し	接続ネットワークアドレス7		/	24	▼
▷外線転送	接続ネットワークアドレス8		/	24	▼
○システム関係	接続ネットワークアドレス9		/	24	▼
▷システムの状態表示	接続ネットワークアドレス10		/	24	▼
▷ネットワーク(設定・状態)					
▷設定データ(保存・読み・初期化)					
					更新

項目	内容
MaintenanceIP アドレス	装置の LAN ポートの IP アドレスおよびサブネットマスクを設定します。 ※192.168.254.252 / 30 のネットワーク (192.168.254.252~255 のアドレス) はシステム内部で使用するため 使用できません
他ネットワーク接続 GW アドレス	他ネットワークに接続するための GW アドレスを設定します。 ※他ネットワーク接続 GW アドレスは MaintenanceIP アドレスと同一ネットワークである必要があります。 ※他ネットワークを接続する場合は、予め他ネットワークと MaintenanceIP アドレスのネットワークが GW を介して相互通信可能である必要があります
接続ネットワークアドレス 1~10	GW を介して接続するネットワークアドレスおよびサブネットマスクを設定します。サブネットマスクを 32 とした場合はネットワークではなくホスト (IP アドレスの PC) 限定の接続となります ※接続ネットワークアドレスは、プライベートアドレス空間 (クラス A/B/C) のネットワークに限ります ※接続ネットワークアドレスは、MaintenanceIP アドレスのネットワークに含まれないものに限ります

【設定例】

MaintenanceIP アドレスが 192.168.0.101 / 24 で、GW が 192.168.0.254 である場合に、

192.168.20.0 / 24 のネットワーク内の PC と、10.0.1.113 の PC からも WEB 機能やファイル共有機能にアクセスしたい場合は、
以下のように設定します。

項目	IP アドレス	サブネットマスク
MaintenanceIP アドレス	192.168.0.101	24
他ネットワーク接続 GW アドレス	192.168.0.254	
接続ネットワークアドレス 1	192.168.20.0	24
接続ネットワークアドレス 2	10.0.1.113	32

【手順1】

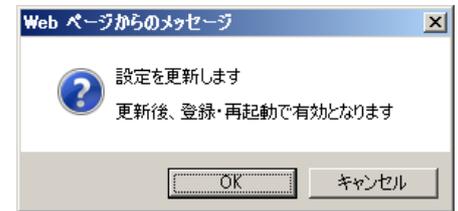
LAN ポートの IP アドレスを設定します。お客様の環境に合わせて IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

【手順2】

他ネットワークセグメントの PC 等と通信したい場合、お客様の環境に合わせて「他ネットワーク接続 GW アドレス」と「接続ネットワークアドレス IP アドレス・サブネットマスク」を登録します。(最大 10 件)

【手順3】

更新 ボタンを押すと確認ダイアログが表示されますので **OK** ボタンを押します。



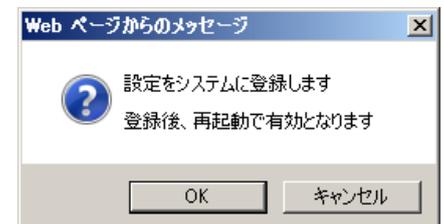
【手順4】

赤文字で「設定しました。登録を実行してください。」と表示されますので **更新** ボタンの右側の新たに現れた **登録** ボタンを押します。



【手順5】

再び確認ダイアログが表示されますので **OK** ボタンを押します。「確認ダイアログ」で **OK** ボタンを押します。



【手順6】

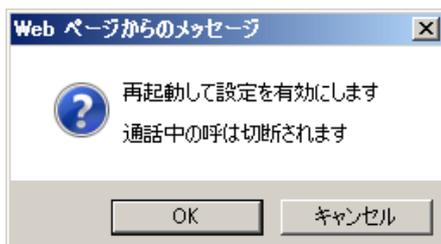
登録 ボタンが **再起動** ボタンに変わりますので、**再起動** ボタンを押します。



【手順7】

確認ダイアログが表示され **OK** ボタンを押すと再起動が発生し設定内容が更新されます。通話が発生していない状況を確認し再起動を行ってください。

再起動により通話切断が発生し、下位端末の再起動(再接続要求)が必要となりますのでご注意ください。



9. 3 電話番号の設定

9. 3. 1 電話番号および着信グループの登録

電話番号およびグループ番号を設定します。

同一動作をさせたい複数の電話番号を1つの着信グループに登録する事によりグループ毎に共通の着信動作を指定する事ができます。



上記画面例ではグループ01とグループ11を新規作成します。後述の「着信メイン処理」にてグループ毎の動作指定が可能です。

項目	内容
グループ番号	00～99 まで最大 100 種類の着信グループの登録が可能
電話番号	着信グループに登録したい電話番号を入力(電話番号は最大 99 個) ※同一の電話番号を複数の着信グループに登録しないでください
通話録音 (録音ありのチャンネルライセンスで対応)	録音ありライセンスを導入時に、電話番号毎に通話録音の有無の設定が可能です チェックを付ける事により、該当電話番号での発着信通話が通話録音されます 録音ありライセンスを導入していない場合は表示されません
名称	着信グループ毎に任意の名称を登録
<input type="button" value="更新"/> ボタン	設定した内容をシステムに反映させます 設定変更後は必ず <input type="button" value="更新"/> ボタンを押してください

- ・グループ番号00番「未設定の番号」とは本画面で「登録した電話番号以外のグループ」という扱いになります。
もし全ての電話番号で同じ動作をさせたい場合、個別の電話番号・グループ登録は不要です。
- ・同一番号を複数のグループに登録しないで下さい。
誤って同一の電話番号を複数の着信グループに登録した場合、グループ番号が一番小さい(若い)グループ*の動作となります。他の着信グループでは正しく動作しませんのでご注意ください。

9. 3. 2 CSV ファイルによる電話番号登録

	第1フィールド	第2フィールド	第3フィールド	第4フィールド
通話録音ライセンスあり	グループ番号 0～99	電話番号 10桁以上 20桁以下	名称(最大全角 30文字)	0(通話録音なし)又は 1(通話録音あり)※
通話録音ライセンスなし	グループ番号 0～99	電話番号 10桁以上 20桁以下	名称(最大全角 30文字)	

- ※「通話録音有無」が指定されない場合は通話録音ありとなります。
- ・ファイルの先頭行が、グループ番号が0で電話番号が値なしの場合は「未設定の番号」のデータとみなします。
- ・ファイル内のダブルクォーテーションは全て無視されます。
- ・名称に設定する文字コードは Shift_JIS を使用してください。Shift_JIS 以外の文字コードは認識できません。

電話番号ファイル操作ボタン	動作
電話番号ファイル保存 <input type="button" value="実行"/> ボタン	登録されている電話番号情報を CSV ファイル形式で保存します
電話番号ファイル読み込 <input type="button" value="参照..."/> ボタン	CSV ファイル形式で保存された電話番号情報ファイルを指定します
電話番号ファイル読み込 <input type="button" value="読み込"/> ボタン	参照した CSV ファイル形式で保存された電話番号情報ファイルを読み込みます
<input type="button" value="更新"/> ボタン	電話番号ファイル読み込み後に更新ボタンで登録する必要があります

9. 5 音声ガイダンスの登録管理

管理メニューの「音声ガイダンスの登録」画面で、本装置で再生する音声ガイダンスを管理します。
 土日などの休日用・平日業務時間外用・各種案内用として再生したい音声ファイルを事前に登録します。
 音声ファイルは最大 100 個の登録可能で、それぞれの音声に名称を付ける事が可能です。



項目	内容
音声ファイル読み込み <input type="button" value="参照..."/> ボタン	登録したい音声ファイルを参照
音声ガイダンス「登録番号」選択	音声ファイル <input type="button" value="参照..."/> ボタンで指定した音声ファイルに登録する番号を選択
音声ガイダンス「名称」欄	音声ファイル <input type="button" value="参照..."/> ボタンで指定した音声ファイルに任意のガイダンス名称を指定
音声ガイダンス <input type="button" value="登録"/> ボタン	①・②・③の内容に基づき、音声ガイダンスを登録
削除用チェックボックスおよび <input type="button" value="削除"/> ボタン	削除したい音声ガイダンスにチェックを入れ、 <input type="button" value="削除"/> ボタンで該当音声を削除
「再生」リンク	クリックした音声ガイダンスをクライアント PC に関連付けされている再生ソフトで再生 (※)
「保存」リンク	クリックした音声ガイダンスを保存

※ Windows MediaPlayer12 以降を推奨します。MediaPlayer の場合、Web ブラウザ下の[開く]ボタンをクリックします。

登録可能な音声ファイル形式は以下の通りです。

項目	内容
ファイル名	半角英数のファイル名.wav (拡張子を含め 60 文字まで) 命名規則：先頭が英数字から始まるもの 使用可能文字は、英数字(0~9、a~z、A~Z)、ハイフン(-)、ピリオド(.)、アンダースコア(_)
ファイル形式	wav ファイル形式
フォーマット	PCM、データ 16bit/8000Hz,モノラル(PCM、データ 8bit/8000Hz,モノラルも可)
最大ファイルサイズ	約 3 分以下
備考	登録時には以下の変換処理が行なわれます ・最大レベルが6dB となるように自動的に変換され内部に保存します ・音声サンプリングレートが 8bit/8000Hz の場合 16bit/8000Hz に変換されます 「保存」リンクから保存した場合、上記変換後の音声ファイルが保存されます

9. 6 伝言録音動作の設定

担当者不在時など、ひかり電話からの着信に自動応答し伝言録音を行う事ができます。

動作実行時には「ピッ」という発信音の後から録音を開始し、録音時間の満了もしくは録音中に#ボタンの入力で録音終了となります。(録音中に回線切断の場合も録音終了となります)録音終了後(録音終了案内再生後)、通話は切断されます。

監視機能によるディスクの空き容量の監視の他、空きサイズが1GBを下回った場合は、伝言録音機能は動作しません。

その場合は、録音が出来ない旨のガイダンスを再生し切断となります。

項目	内容
伝言開始時ガイダンス	02 :
伝言終了後ガイダンス	01 :
伝言録音時間	120 秒
伝言保存日数(未再生)	60 日
伝言保存日数(再生済)	30 日

更新

項目	内容
伝言開始時ガイダンス	伝言録音前に音声ガイダンスを再生したい場合に再生する音声 No を選択 (選択する音声は「音声ガイダンスの登録」で登録した音声)
伝言終了時ガイダンス	伝言録音時間の満了または#キー押下による伝言録音終了後に音声ガイダンスを再生したい場合、再生する音声 No を選択 (選択する音声は「音声ガイダンスの登録」で登録した音声)
伝言録音時間	最大録音時間を 60 秒、120 秒、180 秒から選択 初期値は「120 秒」
伝言保存日数 (未再生)	未再生および未保存の録音ファイルの保存日数を 30 日、60 日、90 日からの選択 初期値は「60 日」
伝言保存日数 (再生済)	再生済または保存済の録音ファイルの保存日数を 30 日、60 日、90 日からの選択 初期値は「30 日」 再生済・保存済の判別は「伝言録音」画面で再生または保存のリンクがクリックされたか否かで行います 正しく再生および保存が完了しない場合でも再生済み・保存済みとなりますのでご注意ください
更新 ボタン	設定変更後は必ず 更新 ボタンを押して変更内容を更新してください

9. 7 通話録音用音声管理装置連携機能

本機能については使用しません。設定値などの登録内容は変更しないでください。

9. 8 通話録音機能の設定(録音ありのチャンネルライセンス導入時のみ)

録音ありのチャンネルライセンス導入時、本装置単体で通話録音機能を実現します。

【動作タイミング】

通話録音が動作するタイミングは以下の通りです。

録音開始	①ひかり電話からの着信後、下位端末の呼出し(端末呼出、透過呼出、呼出)、あるいは外線転送で、端末が応答時 ②下位端末からの発信後、相手端末が応答時
録音終了	①発信側、着信側のどちらかの切断 ②最大録音可能時間【3時間】を経過時

※通話録音データの検索・再生は、クライアント PC の Web ブラウザから IVR-100VoIP/ IVR-24VoIP 本体にアクセスして行います。

通話録音された音声は管理画面から検索・再生・保存可能ですが、空き容量が足りなくなると古い日付から自動的に削除されます。

9. 8. 1 通話録音ファイルの共有フォルダに関する設定

通話録音ファイルを長期保存したい場合や自動削除されて困るような場合、メンテナンス PC から通話録音共有フォルダにアクセス(¥¥Maintenance ポート IP アドレス)し手動で音声ファイルのコピーが可能です。

ファイル共有機能を使用する場合は、予め管理画面にてログインパスワードを設定する必要があります。
ファイルアクセスはリードオンリーのため、ファイルの書き込みや削除は出来ません。

対応 OS は以下の通りです。

- ・ Windows7
- ・ Windows8.1
- ・ Windows10

項目	内容
パスワード	ファイル共有機能のログインパスワードを設定します ログイン ID とパスワードを同じには出来ません パスワードを空に設定した場合は、ファイル共有機能は無効となります(初期状態)
<input type="button" value="更新"/> ボタン	設定変更後は必ず <input type="button" value="更新"/> ボタンを押して変更内容を更新してください

9. 8. 2 通話録音機能の有効化/無効化

通話録音機能の有効/無効を設定します。

The screenshot shows the 'IVR-VoIP' management interface. The breadcrumb path is '>> 事前準備 > 伝言録音ガイダンスその他'. The left sidebar contains a '管理メニュー' (Management Menu) with various options. The main content area is divided into several sections:

- 伝言録音ガイダンス** (Message Recording Guidance): Includes settings for '伝言開始時ガイダンス' (Message Start Guidance), '伝言終了後ガイダンス' (Message End Guidance), '伝言録音時間' (Message Recording Time) set to 120 seconds, '伝言保存日数(未再生)' (Message Retention Days (Not Played)) set to 60 days, and '伝言保存日数(再生済)' (Message Retention Days (Played)) set to 30 days. A '更新' (Update) button is present.
- PCからの録音共有フォルダID** (Recording Shared Folder ID from PC): Set to 'ivruser'. A 'パスワード' (Password) field is shown with masked characters. A '更新' (Update) button is present.
- 通話録音機能の有無** (Call Recording Function On/Off): A dropdown menu is set to '有効' (Enabled). A '更新' (Update) button is present.

Red boxes in the original image highlight the '伝言録音ガイダンスその他' menu item, the '伝言録音機能の有無' setting, and the '更新' button for that setting.

項目	内容
通話録音機能の有無	通話録音機能の有効・無効を設定します無効に設定した場合、通話録音機能は動作しません 初期値は「有効」
<input type="button" value="更新"/> ボタン	設定変更後は必ず <input type="button" value="更新"/> ボタンを押して変更内容を更新してください

9. 9 保留とガイダンス

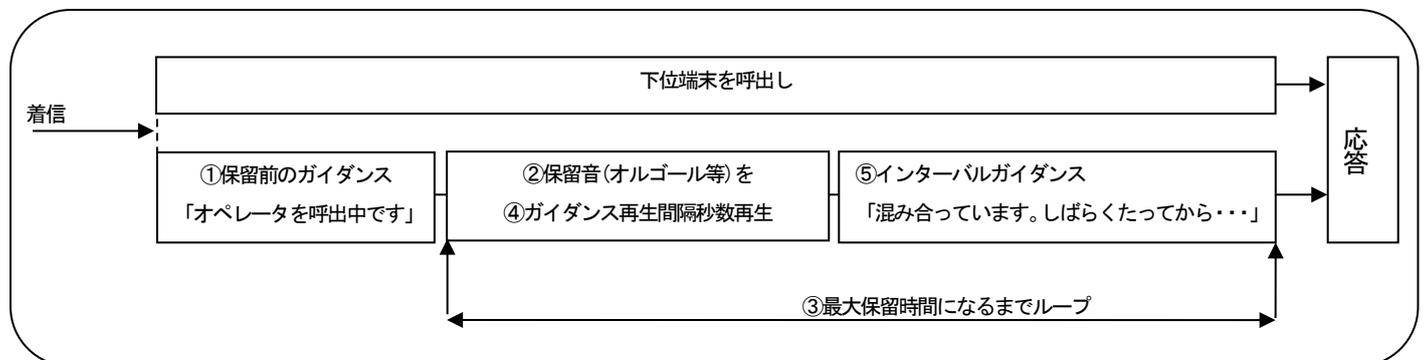
「保留とガイダンス」動作は、単独機能ではなく「端末呼出し」動作の付加機能となります。
 「端末呼出し」動作にて、呼出端末が設定時間未応答の場合に、保留音と音声ガイダンスによる待機を行います。

保留動作は、最初に「保留前のガイダンス」を再生し、その後、「保留音」の再生と「インターバルガイダンス」の再生を最大保留時間(初期値 25 分)の間繰り返します。

The screenshot shows the '保留とガイダンス' configuration page. The left sidebar has '保留とガイダンス' highlighted. The main area contains several settings:

- 保留前のガイダンス: 00: 年末年始用音声ファイル
- 保留音登録: 参照...
- 現在の保留音: システム保留音
- 最大保留時間: 5 分
- ガイダンス再生間隔: 10 秒毎に以下のガイダンスを再生する
- インターバルガイダンス: 03:

項目	内容
保留前のガイダンス	保留前に再生する音声 No を選択
保留音登録	参照... ボタンを押し任意の保留音を登録することができます 登録可能な保留音はファイルサイズが5分までです(初期値はシステム保留音) システム保留音から別の保留音に変更した場合、削除 ボタンが表示されます 削除 ボタンを押すとシステム保留音に戻ります
最大保留時間	保留の最大時間を5分、10分、15分、20分、25分から選択 初期値は「25分」 最大保留時間満後は「端末呼出し」画面の通話不可時動作に設定された動作に遷移します 最大保留時間の間に下位接続端末が応答しない場合は、「端末呼出し」動作の通話不可時動作に遷移します
ガイダンス再生間隔	保留音再生中にインターバルガイダンスを再生する場合の間隔を5秒~120秒(5秒きざみ)からの選択 初期値は「30秒」
インターバルガイダンス	保留中に再生する音声 No を選択 未設定の場合は、保留中は保留音のみ再生 インターバルガイダンス再生完了後、保留音は続きから再生されます
更新 ボタン	設定変更後は必ず 更新 ボタンを押して変更内容を更新してください



10. 運用設定

電話着信時、着信グループ毎に動作させたい「条件と動作」を設定します。

【1】着信規制の設定

セールス電話など、特定の電話番号からの着信を拒否し自動的に切断したい場合に設定を行います。

【2】発信規制の設定(別途ライセンスが必要)

登録された電話番号への発信を自動的に制限します。

【3】着信メイン処理：着信グループ番号の選択

着信動作を設定したい着信グループ番号を選択します。事前登録済みの着信番号が無い場合、「着信グループ番号 00:」を選択します。

【4】着信メイン処理：優先順位の指定

着信番号毎に複数の動作条件の指定が可能です。その場合、優先順位 00(高)~19(低)を指定して登録できます。優先順位順に合致する条件を探し、合致した条件で指定した動作を実行します。

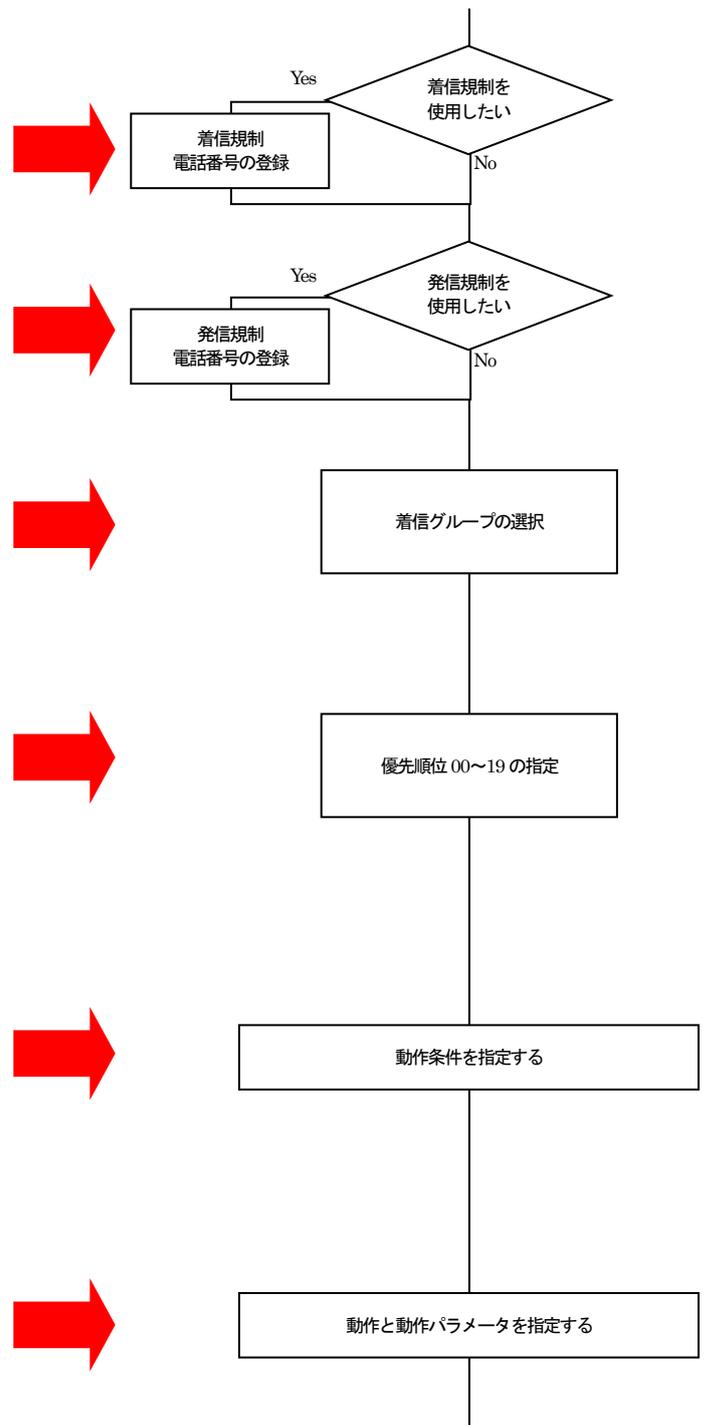
- ・条件に合致した最初の 1 件のみを実行します。
- ・条件に合致しない場合「透過呼出」モードで動作します。

【5】着信メイン処理：動作条件の指定

番号通知の有無・カレンダー・曜日・時間帯による動作指定が可能です。優先順位の順に登録した全ての条件(カレンダー・曜日・時間帯)を判断し、最初に条件が合致した項目に登録された動作を実行します。

【6】着信メイン処理：対応動作の指定

指定動作が起動するまでの待機時間や起動動作および起動動作パラメータを指定します。下表の中から希望する起動動作を選択します。必要に応じて選択した起動動作に対応する動作パラメータも指定する。



動作	動作パラメータ	対応モデル
再生&呼出	音声ガイダンス番号	単階層・多階層モデル
再生&切断	音声ガイダンス番号	単階層・多階層モデル
透過呼出	なし	単階層・多階層モデル
端末呼出し	端末呼出番号	単階層・多階層モデル
外線転送	着信呼を外線に転送します	単階層・多階層モデル
プッシュボタン処理	プッシュボタン処理番号	多階層モデル
伝言録音	録音先のボックス番号	単階層・多階層モデル
切断	なし	単階層・多階層モデル

10. 1 着信規制

着信規制に登録された発信者番号からの着信に対して下位端末を呼び出さず切断します。

着信規制にて着信を拒否した場合は、発着信履歴の呼出結果に「着信規制」と表示されます。

着信規制する電話番号の登録方法は「1 番号毎入力」「発着信履歴からの選択登録」「CSV ファイルによる登録」です。

発着信履歴から遷移してきた場合は、選択した電話番号が自動で入力されます（登録まではされません）。

発着信履歴から遷移してきた場合で、すでに選択した電話番号が登録済みの場合は、現在の登録内容が表示されます。



項目	内容
電話番号	着信規制したい電話番号を入力もしくは検索したい着信規制に登録されている電話番号を入力 10桁以上 20桁以下の電話番号を最大 30 万件まで ※同一市内の場合でも市外局番を付けて登録、国際電話の場合は国番号を付けて登録する必要があります
備考	全角 30 文字まで(省略可)
<input type="button" value="登録"/> ボタン	入力された電話番号と備考を登録します
<input type="button" value="検索"/> ボタン	入力された電話番号を検索します
<input type="button" value="削除"/> ボタン	登録済みの電話番号を 1 件削除します
着信規制電話番号ファイル保存 <input type="button" value="実行"/> ボタン	登録済みの電話番号を CSV 形式で保存します
着信規制電話番号ファイル <input type="button" value="参照..."/> 読み込みボタン	登録したい電話番号一覧のファイルを選択します
着信規制電話番号ファイル登録ラジオボタン	着信規制電話番号ファイルの登録を差分登録か全件登録で選択します 差分登録・・・ファイル内で未登録の電話番号のみ追加で登録します 全件登録・・・登録済みのデータを全件削除後にファイル内の番号を全件登録します
<input type="button" value="登録"/> ボタン	選択された登録方法に基づいて指定された発信規制電話番号ファイルの内容で登録します ただしファイル内で重複データが存在した場合や、データが無効の場合は、そのデータはスキップされます ファイルの読み込みによる登録は件数により時間が掛かりますが、その間別件の登録は出来ません

CSV ファイル形式の内容は以下の通りです。

第 1 フィールド	第 2 フィールド
電話番号	備考

※ファイル内のダブルクォーテーションは全て無視されます

・備考に設定する文字コードは Shift_JIS を使用してください。Shift_JIS 以外の文字コードは認識できません。

10. 1. 1 着信規制の電話番号判定方法について

着信規制の電話番号判定方法は以下の通りです。

判定① 発信者番号が非通知や 9 桁以下の場合は、無条件で着信許可となります。

判定② 発信者番号が 10 桁以上の場合、着信規制番号データと完全一致（全桁一致）のマッチングで一致した場合は規制対象となります。

判定③ 上記でマッチングしなかった場合は着信許可となります。

10. 2 発信規制(発信規制ライセンス導入時のみ)

発信規制に登録された電話番号への発信を制限する事ができます。

発信規制に登録された電話番号に対して発信した場合「この番号への発信は出来ません」ガイダンスを2回再生し切断します。

発信規制にて発信を規制した場合は、発着信履歴の呼出結果に「発信規制」と表示されます。

発信規制する電話番号の登録方法は「1 番号毎入力」「発着信履歴からの選択登録」「CSV ファイルによる登録」です。

(注) グループダイヤリングサービスを利用中の場合は、外線発信方法が異なるため発信規制機能は使用できません。

発着信履歴から遷移してきた場合は、選択した電話番号が自動で入力されます(登録まではされません)。

発着信履歴から遷移してきた場合で、すでに選択した電話番号が登録済みの場合は、現在の登録内容が表示されます。



項目	内容
電話番号	発信規制したい電話番号を入力もしくは検索したい発信規制に登録されている電話番号を入力 0 から始まり 10 桁以上 20 桁以下の電話番号を最大 30 万件まで ※同一市内の場合でも市外局番を付けて登録、国際電話の場合は国番号を付けて登録する必要があります ユーザによる定期的なシステムチェック用の電話番号として「0300000000」が予約済(削除、変更不可)
備考	全角 30 文字まで(省略可)
<input type="button" value="登録"/> ボタン	入力された電話番号と備考を登録します
<input type="button" value="検索"/> ボタン	入力された電話番号を検索します
<input type="button" value="削除"/> ボタン	登録済みの電話番号を 1 件削除します
発信規制電話番号ファイル保存 <input type="button" value="実行"/> ボタン	登録済みの電話番号を CSV 形式で保存します
発信規制電話番号ファイル <input type="button" value="参照..."/> 読みボタン	登録したい電話番号一覧のファイルを指定します
発信規制電話番号ファイル登録ラジオボタン	発信規制電話番号ファイルの登録を差分登録か全件登録で選択します 差分登録・・・ファイル内で未登録の電話番号のみ追加で登録します 全件登録・・・登録済みのデータを全件削除後にファイル内の番号を全件登録します
<input type="button" value="登録"/> ボタン	選択された登録方法に基づいて指定された発信規制電話番号ファイルの内容で登録します ただしファイル内で重複データが存在した場合や、データが無効の場合は、そのデータはスキップされます ファイルの読み込みによる登録は件数により時間が掛かりますが、その間は別件の登録は出来ません
自分の市外局番	同一市内への発信として市内局番からダイヤルして発信した場合を規制できるよう市外局番を使用します 市外局番は 0 から始まり 2 桁以上 5 桁以下で設定します
自分の市外局番用 <input type="button" value="更新"/> ボタン	自分の市外局番用を登録します

CSV ファイル形式の内容は以下の通りです。

第 1 フィールド	第 2 フィールド
電話番号	備考

※ファイル内のダブルクォーテーションは全て無視されます

・備考に設定する文字コードは Shift_JIS を使用してください。Shift_JIS 以外の文字コードは認識できません。

10. 2. 1 発信規制の電話番号判定方法について

発信時の相手電話番号（着信番号）を、以下の発信規制判定方法に従って判定を行います。

○発信規制判定方法（※実際の発信するダイヤルは変更されません）

- ①ダイヤルの先頭の 184、186 は取り除きます。
- ②ダイヤルが 2～9 で始まる場合は市外局番を先頭に付加します。
※市外局番が設定されていない場合は、市内発信（市内局番からの発信）は規制できません。
- ③ダイヤルが 9 桁以下の場合は、無条件で発信許可となります。
- ④ダイヤルが 10 桁の場合は、発信規制番号データと完全一致のマッチングで一致した場合は規制対象となります。
- ⑤ダイヤルが 11 桁以上の場合は、発信規制番号データと前方一致のマッチングで一致した場合は規制対象となります。
※ひかり電話回線は、ダイヤルの後ろに余計なダイヤルが付加されても発信可能なため規制対象となります。
- ⑥マッチングしなかった場合は発信許可となります。

10. 2. 2 発信規制機能の確認について

発信規制機能が有効になっているか、定期的(業務開始前など)にチェック用番号（0300000000）をダイヤルして発信規制が効いているかをチェックしてください。

10.3 着信メイン処理

本装置はフレッツ光ネクスト回線からの着信時に着信グループ毎に選択された動作を起動します。
 着信時の動作設定は「着信グループ」に対して「動作条件」と「対応動作」で行います。
 着信グループには、「電話番号の設定」で予め着信番号を割り当てる必要があります。

着信メイン処理にて起動可能動作の一覧は以下になります。

動作	パラメータ	対応モデル
再生&呼出	音声 No を選択	単階層・多階層モデル
再生&切断	音声 No を選択	単階層・多階層モデル
透過呼出	なし	単階層・多階層モデル
端末呼出し	登録済み呼出条件から選択	単階層・多階層モデル
外線転送	着信呼を外線に転送します。	単階層・多階層モデル
伝言録音	録音先のボックス番号	単階層・多階層モデル
プッシュボタン処理	登録済みプッシュボタン処理から選択	多階層モデル
切断(または空欄)	なし	単階層・多階層モデル

※各動作の詳細は機能動作を参照

待機時間を設定することで、動作を一定時間遅らせる事ができます。



項目	内容
グループ番号選択	任意のグループ番号を選択 選択したスケジュール内容が自動的に画面に表示されます
年間スケジュールプルダウン	スケジュール保存したい年をプルダウンから選択します
年間スケジュール 保存 ボタン	選択したグループ番号の年間スケジュールを保存します ファイルは CSV 形式で各値はシングルクォーテーションで囲まれます フォーマットは、「年月日、曜日、開始時刻、終了時刻、動作、パラメータ、非通知」となります
更新 ボタン	設定変更後は必ず 更新 ボタンを押して変更内容を更新してください

10. 3. 1 動作条件

「着信メイン処理」においては、番号非通知や日時などの動作条件に応じて対応動作の切り替えが可能です。
 優先順に、条件に合致するかを調べ最初に条件に合致した対応動作を実行し処理を終了します。
 (条件に合致する行が複数存在する場合は、最初に見つかった動作のみ実行します)

動作条件				
優先順	非通知	休日カレンダー	曜日	時間
無効 <input type="button" value="v"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/>
無効 <input type="button" value="v"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/>
無効 <input type="button" value="v"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/>
無効 <input type="button" value="v"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/>

優先順、非通知、休日カレンダー、曜日、時間の条件は同時に設定可能です。同時に設定した場合は、全ての条件を満たした場合に着信動作します。

【動作条件】

項目	内容
優先順	優先順に条件を比較します 00~19 で条件の参照順位を設定します。00 が最高位となります 無効の場合はその設定行は無効となります 削除を設定した場合は、 <input type="button" value="更新"/> ボタンを押すとその設定行が削除されます <input type="button" value="更新"/> ボタンにより優先順位でソートされます
非通知	発信番号が非通知のときのみ着信時の動作を切り替えたい場合に使用します 「全ての非通知」、「公衆電話以外」、「(空欄)」が選択が可能です 「全ての非通知」の場合は、非通知理由に関係なく全ての非通知で条件を満たします 「公衆電話以外」の場合は、非通知理由が公衆電話以外の非通知の場合に条件を満たします 「(空欄)」の場合は、全ての通話で条件を満たします
休日カレンダー	「休日カレンダーの登録」で設定した日付に合致したときのみ動作させたい場合に使用します
曜日	指定した曜日と一致したときのみ動作させたい場合に使用します 日曜日から土曜日までの各曜日の他、土日、月一金、月一土で選択可能です
時間	指定した時間帯に合致したときのみ動作させたい場合に使用します 設定する場合は、開始時間と終了時間合わせて設定が必要です 開始時間は以上、終了時間は未満で設定します 開始時間に「24:00」での指定はできません 終了時間に、「00:00」や「24:01以降」での設定はできません 18:00~09:00のような設定も可能です。この場合、18:00~24:00と00:00~09:00に同様となります (次の日の00:00~09:00ではありません)

上記条件は、優先順に判定し、1行に条件を複数設定した場合は全て満たした場合(AND)に指定動作が起動します。
 条件を満たした行が見つかったと、それに対応した動作を実行し、以降の行の条件判定は行なわず終了します。
 動作条件による対応動作の設定は1着信グループ毎に最大20件まで設定可能です。
 最終的にどの条件も満たさない場合は、「透過呼出」動作となります。

10. 3. 2 対応動作

「着信メイン処理」においては、動作条件に合致した場合にのみ、対応動作が起動します。

対 応 動 作			
チャネル制限	待機時間	動作	パラメータ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 秒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 秒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 秒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 秒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【対応動作】

項目	内容
チャネル制限	着信するチャネル数を制限します
待機時間	動作を一定時間遅らせたい場合に設定します。(なし、1秒～60秒)
動作	起動する動作を一覧から選択
パラメータ	起動する動作に付随するパラメータを一覧から選択

動作	パラメータ	待機時間設定時	対応モデル
再生&呼出	音声 No を選択	自動応答し、待機時間経過後に音声ガイダンス再生	全モデル
再生&切断	音声 No を選択	自動応答し、待機時間経過後に音声ガイダンス再生	全モデル
透過呼出	なし	待機時間経過後に透過呼出動作開始	全モデル
端末呼出し	登録済み呼出し条件から選択	待機時間経過後に端末呼出し動作開始	全モデル
外線転送	登録済み転送番号から選択	待機時間経過後に外線転送動作開始	全モデル
伝言録音	録音先のボックス番号	自動応答後、待機時間後に伝言録音動作開始	全モデル
プッシュボタン処理	登録済みプッシュボタン処理から選択	自動応答し、待機時間後に音声ガイダンス再生	多階層モデル
切断	なし	待機時間経過後に切断	全モデル

10. 4 対応動作および機能

10. 4. 1 再生&呼出

ひかり電話からの着信に应答後、音声ガイダンスの再生を1回行い、再生完了後に着信時の電話番号で下位端末を呼出します。下位接続端末の呼出時間は最大1500秒で、呼出時間を経過しても下位端末が应答しなかった場合、通話は切断されます。

再生する音声ガイダンスは、予め登録した音声ガイダンスからの選択となります。

音声ガイダンスが登録されていない場合は、音声ガイダンスは再生されませんが「呼出」動作は行われます。

※「呼出」動作については、後述の「呼出動作」を参照してください。

10. 4. 2 再生&切断

ひかり電話からの着信に应答後、音声ガイダンスの再生を1回行い、再生完了後に「切断」動作を行います。

再生する音声ガイダンスは、予め登録した音声ガイダンスからの選択となります。

音声ガイダンスが登録されていない場合は、音声ガイダンスは再生されませんが「切断」動作は行われます。

※「切断」動作については、後述の「切断動作」を参照してください。

10. 4. 3 透過呼出

ひかり電話からの着信時に、自動応答せずに着信時の電話番号で下位接続端末に対して呼出動作を行います。

下位接続端末の呼出時間は最大1500秒で、呼出時間を経過しても下位端末が应答しなかった場合、通話は切断されます。

下位端末が应答しなかった場合、通話料金は発生しません。

10. 4. 4 端末呼出し

下位端末の呼出を行います。

ひかり電話からの着信番号のままでの呼出しや、任意の番号に変換しての呼出しが選択出来ます。通話終了後は回線切断され動作は終了となります。「着信メイン処理」にて「端末呼出し」が設定されている場合は、ひかり電話からの着信に自動応答せずに「下位端末呼出し」となります。未応答時動作や通話不可時動作で「保留とガイダンス」、「再生&切断」、「伝言録音」が選択されている場合は、その時点での自動応答となります。自動応答後に「端末呼出し」動作を行う場合は、ひかり電話側へは RTP でリングバックトーンを送出します。

項目	内容
呼出番号	空欄の場合、着信番号のまま下位端末を呼出す 任意の番号に変換したい場合、変換したい着信番号を登録
呼出時間	下位端末を呼出す最大時間を 1/3/5/10/15/20/25/30/35/60/180/300/600/1200/1500 秒から選択 初期値は「35 秒」
未応答時動作	呼出時間を経過しても下位端末が応答しなかった場合の動作を選択
未応答時パラメータ	未応答時動作のパラメータを選択
通話不可時動作	接続障害などで下位端末が通話不可時の動作を選択
通話不可時パラメータ	通話不可時動作のパラメータを選択
更新 ボタン	設定変更後は必ず 更新 ボタンを押して変更内容を更新してください

端末呼出しの未応時に起動可能動作の一覧は以下になります

未応答動作	未応答時パラメータ
再生&切断	音声 No を選択
伝言録音	伝言ボックス番号を選択
切断(もしくは空欄)	なし
外線転送	転送先 No を選択
保留とガイダンス	なし

端末呼出しの通話不可時に起動可能動作の一覧は以下になります

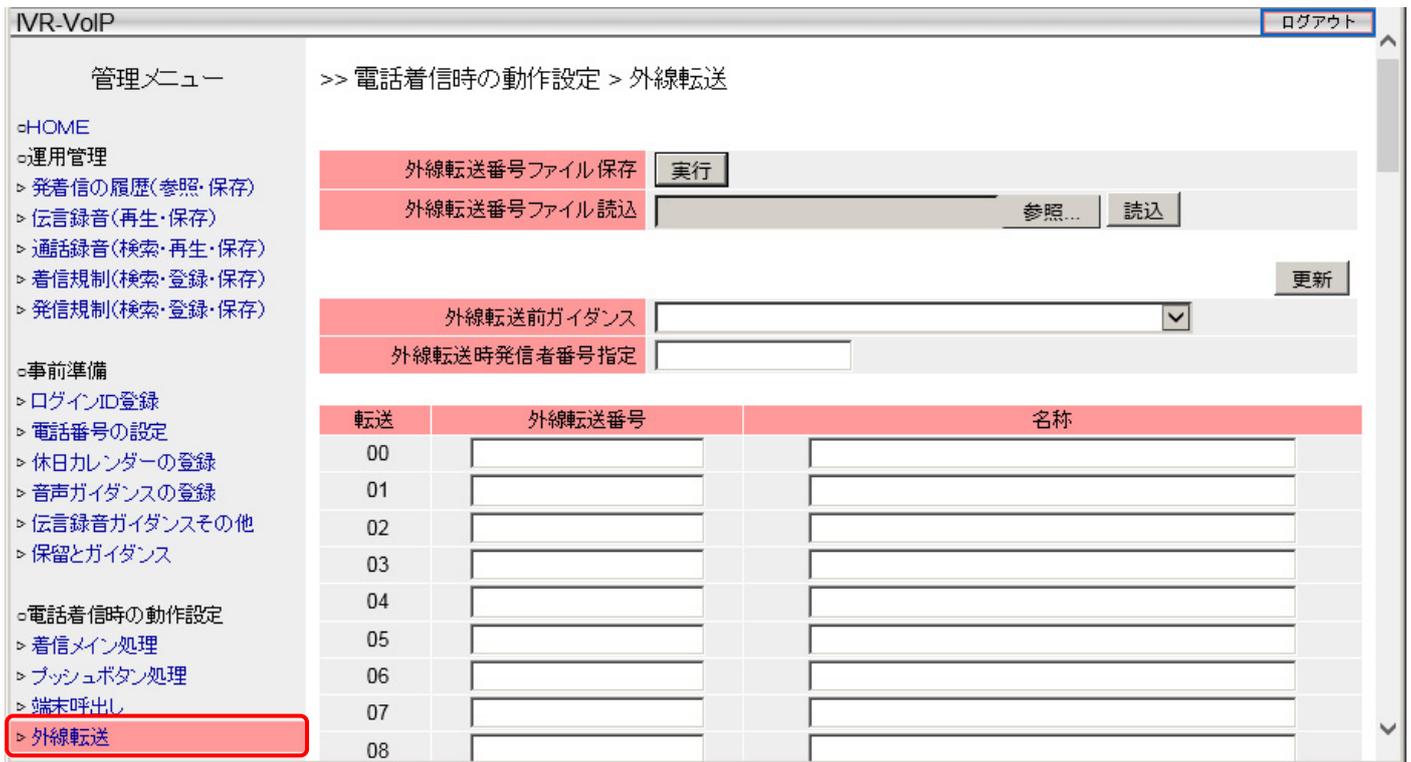
通話不可時動作	通話不可時パラメータ
再生&切断	音声 No を選択
伝言録音	伝言ボックス番号を選択
切断(もしくは空欄)	なし
外線転送	転送先 No を選択

10. 4. 5 伝言録音

着信に応答後、伝言録音を行います。動作実行時には「ピッ」という発信音の後から音声録音されます。録音終了後（録音終了案内再生後）、通話は切断され IVR 機能は終了となります。録音された音声は、wav ファイル形式で、フォーマットは「PCM、データ 16bit、モノラル、サンプリング 8000Hz」で作成されたファイルになります。監視機能によるディスクの空き容量の監視の他、空きサイズが 1GB を下回った場合は、伝言録音機能は動作しません。その場合は、録音が出来ない旨のガイダンスを再生し切断となります。WEB 機能により録音ファイルの再生や保存が可能です。録音ファイル名は、vmsg_ボックス番号_録音開始日時_発信番号_ID.wav となります。※発信者番号が非通知の場合はファイル名の発信番号の部分は「anonymous」となります。※ID 部分は重複防止のための英数字 2 桁が自動で付加されます。

10. 4. 6 外線転送

着信呼を、事前に登録させた転送先番号へ転送します。外線転送は V 字転送となるため通話中は 2 チャンネルを使用します。外線転送時は、着信呼に付加された「発サブアドレス」、「着サブアドレス」は透過しません。通話終了時は着信呼側、転送呼側ともに「切断」動作により回線は切断され、通話は終了となります。転送先が未応答の場合には 1500 秒にて両方の呼を切断します。外線転送時の発着信履歴は「転送」として表示されます。



項目	内容
実行 ボタン	外線転送電話番号を CSV ファイルに保存します
参照...	外線転送電話番号が登録された CSV ファイルを参照します
読込	参照ボタンで指定した外線転送電話番号 CSV ファイルを読み込みます
外線転送前ガイダンス	転送前にガイダンスを再生したい場合、ここで音声ガイダンスを選択します(ガイダンス再生完了後に発信となります)
外線転送時発信者番号指定	空欄時は転送先に通知される発信者番号は、本装置に着信時の着信番号となります 「契約電話番号もしくは追加電話番号」を登録する事により、発信者番号を固定する事ができます
外線転送番号	転送先の電話番号を登録します。転送先番号がもしも発信規制対象の場合でも発信を行います
名称	外線転送番号に名称・コメント等を登録します

10. 4. 7 切断

動作終了として回線を切断します。動作として「切断」が選択された場合の他、下位接続端末との通話終了時・通話失敗時に切断動作が機能します。また、「端末呼出し」の未応答時動作、通話不可時動作や「プッシュボタン処理」のリトライオーバー動作が未指定の場合や、ライセンスチャンネル制限の場合も切断動作が機能します。

10. 4. 8 プッシュボタン処理(多階層モデルのみ)

ひかり電話からの着信に应答後、初期ガイダンスを再生後、プッシュ待ち用の音声ガイダンスを再生します。再生する音声ガイダンスは、予め登録した音声ガイダンスからの選択となります。

入力について

入力可能プッシュボタンは0~9で、入力されたプッシュボタンに応じて、選択された動作を起動します。

動作が設定されていない数字が入力された場合、指定された「無効入力時ガイダンス」が再生されます。

(無効入力時ガイダンスが指定されていない場合は何も再生しません)

プッシュボタンによる起動動作が1つも選択されていない場合は、プッシュボタンの入力は受け付けません(無効入力時ガイダンス処理も動作しません)。また、プッシュ待ち時間も効きません。

リトライについて

適切な入力が無かった場合、リトライ回数で指定された回数分リトライ(プッシュ待ちのガイダンス再生及びプッシュ待ち)が実行されます。リトライとなる条件は以下になります。

- ・ 入力が無かった場合(プッシュ待ち用音声ガイダンス再生後の「プッシュ待ち時間」経過後)
- ・ 設定されていないプッシュボタンが入力された場合(無効入力時)

※但し無効入力時ガイダンスの「動作」を指定した場合はリトライに遷移せず、指定された動作に遷移します。

リトライオーバー時

- ・ 指定されたリトライ回数を越えた場合は、「無効入力ガイダンス」再生後、「リトライオーバーガイダンス」が再生されます。

(ガイダンスが指定されていない場合は再生しません)

上記ガイダンス再生後、指定された動作に遷移します。(動作指定がない場合は「切断」動作により回線は切断されます)

The screenshot shows the 'IVR-VoIP' management interface. The left sidebar contains a '管理メニュー' (Management Menu) with various options. The 'プッシュボタン処理' (Push Button Processing) option is highlighted with a red box. The main content area is titled '>> 電話着信時の動作設定 > プッシュボタン処理' (Phone Call Action Settings > Push Button Processing). It features several configuration fields: '処理番号選択' (Processing Number Selection) set to '00', a '削除' (Delete) button, and a '更新' (Update) button. Below these are sections for '初期ガイダンス' (Initial Greeting), 'プッシュ待ちのガイダンス' (Push Wait Greeting), 'プッシュ待ち時間' (Push Wait Time) set to '0', and 'リトライ回数' (Retrial Count) set to '0'. A table lists push buttons 1 through 9 and 0, each with a '動作' (Action) dropdown and a 'パラメータ' (Parameter) dropdown. The '無効入力時ガイダンス' (Invalid Input Greeting) section is also present. At the bottom, there are sections for 'リトライオーバーガイダンス' (Retrial Over Greeting) with its own '動作' and 'パラメータ' dropdowns.

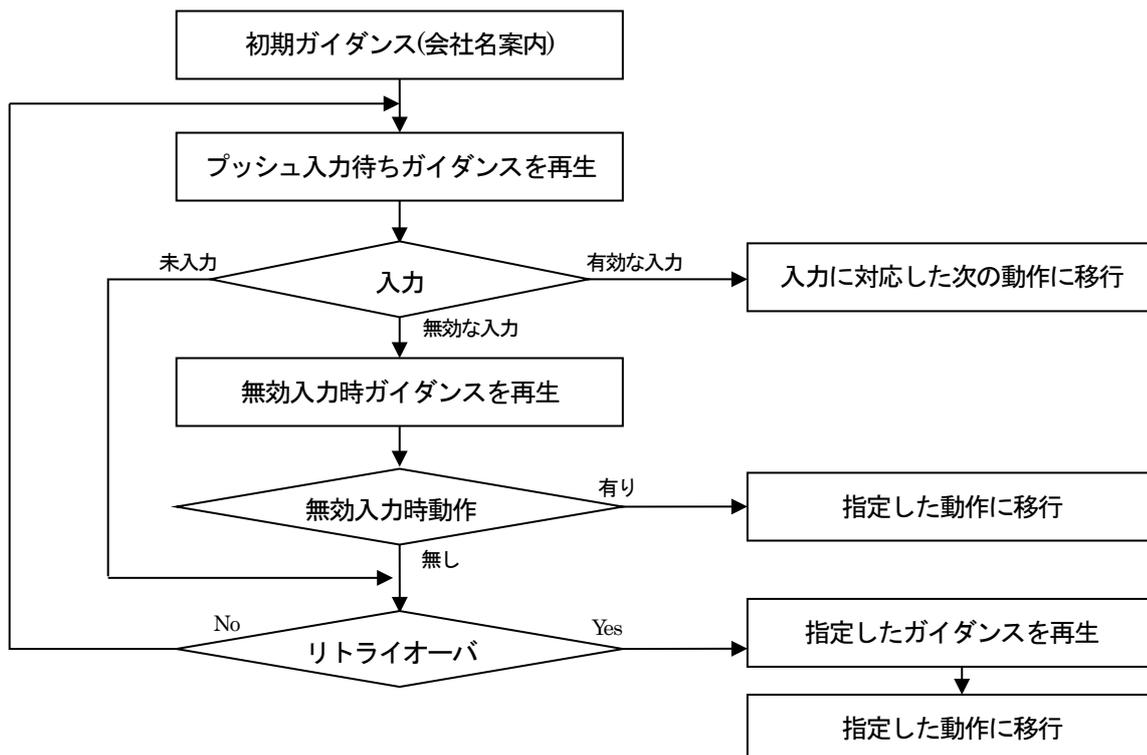
項目	内容
処理番号選択	登録処理番号の選択 (最大 100 件のプッシュボタン処理が登録可能、設定したい処理番号をプルダウンから選択すると設定が表示される)
名称	プッシュボタン処理の名称を入力
初期ガイダンス	応答挨拶・会社名案内等、プッシュボタン処理開始前にガイダンスを再生したい場合、音声 No を選択
プッシュ待ちのガイダンス	プッシュボタン選択の音声ガイダンスを再生したい場合、音声 No を選択
プッシュ待ち時間	プッシュボタンが入力されるまでの待機時間を 0 秒～30 秒から選択 ガイダンス再生中からプッシュボタン(DTMF)の入力を受け付け可能です。
リトライ回数	条件に合うプッシュボタンが入力されるまでのリトライ回数を 0 回～20 回から選択
動作	プッシュボタンが押された場合の動作を選択
パラメータ	プッシュボタンが押された場合の動作パラメータを選択
無効入力時ガイダンス	未登録プッシュボタンが押された時に音声ガイダンスを再生したい場合、音声 No を選択 ※未入力時には、無効入力時ガイダンスは再生されず設定に応じてリトライ処理に進みます
無効入力時動作	未登録プッシュボタンが押された時に特定の動作を行いたい場合に設定します
無効入力時動作パラメータ	未登録プッシュボタンが押された時に特定の動作を行いたい場合の動作パラメータを設定します
リトライオーバーガイダンス	リトライ回数を超えた時に音声ガイダンスを再生したい場合、音声 No を選択
リトライオーバー時動作	リトライ回数を超えた時の動作を選択(未指定の場合は「切断」)
リトライオーバー時動作パラメータ	リトライ回数を超えた時の動作パラメータを選択
 ボタン	該当のプッシュボタン処理を削除します
 ボタン	設定変更後は必ず  ボタンを押して変更内容を更新してください

プッシュボタン処理において起動可能動作の一覧は以下になります。

動作	パラメータ
再生&呼出	音声 No を選択
再生&切断	音声 No を選択
端末呼出し	登録済み呼出し条件から選択
プッシュボタン処理	プッシュ処理番号

動作	パラメータ
伝言録音	録音先のボックス番号
呼出	なし
外線転送	転送 No を選択
切断(もしくは空欄)	なし

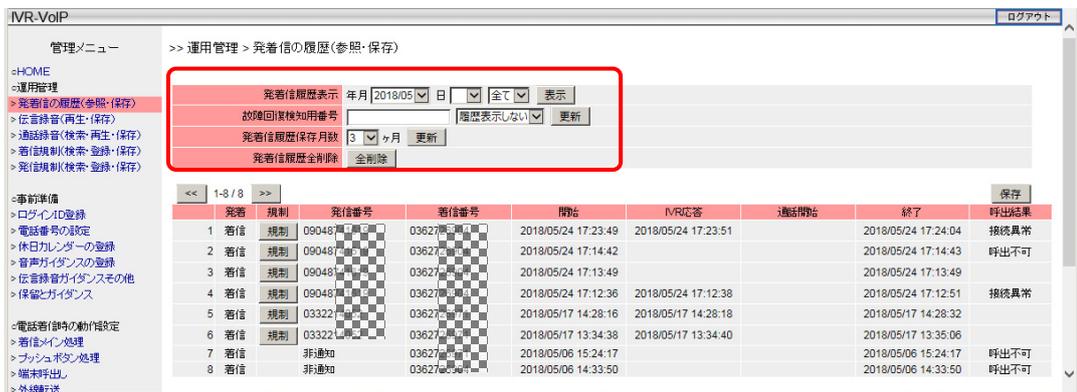
【処理の流れのイメージ】



11. 運用管理(伝言録音・発着信の履歴・通話録音)

11. 1 発着信の履歴

管理メニューの「発着信の履歴(参照・保存)」画面から、発着信履歴の表示および全削除、保存を行います。
表示や保存は月単位で、日にち指定、発着指定が可能です。設定保存月数経過後の履歴は自動で削除します(削除は月単位)。



【項目およびボタン】

項目	内容	
発着信履歴表示	表示条件として年月日と発着区分を指定	
ボタン	発着信履歴表示の条件に基づき発着信の履歴を表示	
故障回復検知用番号	故障・回復通知機能で利用する電話番号を登録	
故障回復検知着信表示	「履歴表示する」/「履歴表示しない」を選択	
故障回復検知設定用 ボタン	故障回復検知設定に関する設定を更新	
発着信履歴保存月数	発着信履歴の保存月数として1ヶ月～12ヶ月から設定可能です(初期値は3ヶ月)	
発着信履歴保存月数用 ボタン	発着信履歴保存月数の設定を更新	
ボタン	全ての履歴を削除	
ボタン	表示されている発着信の履歴を CSV 形式で保存(各値はシングルクォーテーションで囲まれます) フォーマットは、「発着、発信番号、着信番号、開始日時、IVR 応答日時、通話開始日時、終了日時、呼出結果」	
発着	通話の発着区分 「発信」「着信」「転送」が表示されます ※外線転送時、「外線転送前ガイダンスの再生中」など外線転送動作前に切断された場合、発着区分は「着信」となります	
ボタン	着信時：着信規制番号登録画面に移動 ※非通知の場合はボタンが表示されません	発信時：発信規制番号登録画面に移動 ※発信規制ライセンス未導入時はボタンが表示されません
発信番号	着信時の発信者の電話番号、	発信時：相手に通知しようとしている電話番号(網で変更される場合あり)
着信番号	着信時：発信者が掛けてきた電話番号	発信時：呼出す相手の電話番号
開始	本装置で呼が発生(発信または着信)した日時	
IVR 応答(着信時のみ)	自動応答した日時(「再生&呼出」「再生&切断」「プッシュボタン処理」「伝言録音」「端末呼出し」「保留とガイダンス」)	
通話開始	発信時：下位接続端末と呼出相手との間で通話が開始した日時(放棄呼の場合は日時は表示されない) 着信時：発信者と下位接続端末との間で通話が成立した日時(「再生&呼出」、「端末呼出し」、「透過呼出」、「呼出」)	
終了	本装置で呼が終了(切断)した日時	
呼出結果	応答：下位端末相手もしくは外線転送先の相手が応答して通話が開始された	未応答：下位端末相手もしくは外線転送先において呼出し時間内に応答されなかった
	話中：下位端末相手が話中レスポンスが返ってきた場合	放棄呼：下位端末相手もしくは外線転送先において相手が応答する前に発信側が切断した
	着信規制：着信規制により通話を切断した	接続異常： 下位端末が接続されていない(本装置が一次応答時)。 下位端末呼出でタイムアウトした
	呼出不可：透過呼出時、下位端末が存在しない	
	発信規制：発信規制により発信を終了した	呼出不可：その他の理由により通話が失敗した
* マーク：ライセンス不足により着信不可となった		

NTT 西日本・NTT 東日本のオフィス A のオプションサービス「故障・回復通知機能」を利用する場合について
上記サービスを利用する場合、契約時に申し込んだ「検知用電話番」に定期的に故障検知の為の着信が行われます。
本装置は上記、故障検知の為の着信履歴を非表示にさせる事が可能です。

11. 2 伝言録音

管理メニューの「伝言録音(再生・保存)」画面から、伝言録音機能により録音された録音ファイルの一覧が表示されます。

- ・録音が始まった日時、発信番号、録音時間が情報として表示されます。
- ・伝言ボックスの選択、ファイル削除、再生、保存が可能です。
- ・一度も再生や保存をしていないファイルは、NEW マークが表示されます。
- ・録音ファイルは保管日数の設定により自動で削除されます。
- ・発信番号が非通知の場合画面上では「非通知」と表示されますが、実際のファイル名では発信番号部分は「anonymous」となります。

削除	録音日時	発信番号	録音秒数	ファイル
<input type="checkbox"/>	2017/04/27 14:56:36	非通知	8	NEW 再生 保存
<input type="checkbox"/>	2017/04/27 14:55:57	非通知	10	NEW 再生 保存
<input type="checkbox"/>	2017/04/27 14:55:40	非通知	6	NEW 再生 保存

【項目およびボタン】

項目	内容
伝言ボックス選択	一覧表示したい伝言ボックスをプルダウンメニューから選択します
削除フラグ	削除したい伝言を選択します。
<input type="checkbox"/> ボタン	削除チェックボックスでチェックされた音声削除
<input type="button" value="再表示"/> 再表示ボタン	最新の状態を表示します
<input type="button" value="前ページ"/> ボタン	検索結果一覧が複数ページになる場合の前ページ移動ボタン
<input type="button" value="次ページ"/> ボタン	検索結果一覧が複数ページになる場合の次ページ移動ボタン

【一覧】

項目	内容
削除チェックボックス	<input type="checkbox"/> ボタンで削除したい対象にチェック
通話開始日時	通話録音開始日時
発信番号	発信元の電話番号
録音秒数	通話録音秒数
「再生」リンク	対象をクライアント PC に関連付けられている再生ソフトで再生 (注)
「保存」リンク	対象を任意の場所に保存

(注) Windows MediaPlayer12 以降を推奨します。MediaPlayer の場合、Web ブラウザ下の[開く]ボタンをクリックします。

録音された音声は、wav ファイル形式で、フォーマットは「PCM、データ 16bit、モノラル、サンプリング 8000Hz」で作成されたファイルになります。

監視機能によるディスクの空き容量の監視の他、空きサイズが 1GB を下回った場合は、伝言録音機能は動作しません。その場合は、録音が出来ない旨のガイダンスを再生し切断となります。

管理メニューより録音ファイルの再生や保存ができます。

録音ファイル名は、vmsg_ボックス番号_録音開始日時_発信番号_ID.wav となります。

※発信者番号が非通知の場合はファイル名の発信番号の部分は「anonymous」となります。

※ID 部分は重複防止のための英数字 2 桁が自動で付加されます。

11. 3 通話録音(録音ありのチャネルライセンス導入時で、録音モードが選択された場合のみ)

管理メニューの「通話録音(検索・再生・保存)」画面から、通話録音された録音ファイルの一覧が表示されます。

録音を開始された日時、発着の識別、発信番号、着信番号、録音時間が情報として表示されます。

- ・表示は月単位で、日にち指定、発着指定、電話番号指定が可能です。
- ・通話録音ファイルの削除、再生、保存が可能です。
- ・通話録音ファイルは 65 日経過により自動で削除されます。



※上記管理画面は録音ありのチャネルライセンス導入時で、録音モードが選択された場合のみ表示されます。

【項目およびボタン】

項目	内容
年月	一覧表示したい年月を選択
日	日にちを指定して一覧表示したい場合に日を選択
発信・着信	一覧表示したい「発着区分」を選択
電話番号	検索対象としたい電話番号
検索 ボタン	検索条件に基づき一覧表示する
削除 ボタン	削除チェックボックスでチェックされた音声削除
<< ボタン	検索結果一覧が複数ページになる場合の前ページ移動ボタン
>> ボタン	検索結果一覧が複数ページになる場合の次ページ移動ボタン

【一覧】

項目	内容
削除チェックボックス	削除 ボタンで削除したい対象にチェック
通話開始日時	通話録音開始日時
発着	発着区分
発信番号	発信元の電話番号
着信番号	着信先の電話番号
録音秒数	通話録音秒数
「再生」リンク	対象をクライアント PC に関連付けられている再生ソフトで再生 (注)
「保存」リンク	対象を任意の場所に保存

(注) Windows MediaPlayer12 以降を推奨します。MediaPlayer の場合、Web ブラウザ下の[開く]ボタンをクリックします。

録音された音声は、wav ファイル形式で、フォーマットは「PCM、データ 16bit、モノラル、サンプリング 8000Hz」で作成されたファイルになります。(フォーマットから約 1MB/分のファイルサイズとなります)

通話録音ファイルは、年月フォルダおよび日付フォルダ毎に 65 日間装置内に保存され、65 日を経過した録音ファイルは自動で消去されます。(日付フォルダ毎)

その他、監視機能によるディスクの空き容量の監視とともに、毎朝 4:00 においてディスクの使用量が 90%超えの場合、80%以下になるまで古い日付から順番に通話録音ファイルを消去します。(日付フォルダ毎)

保存は管理画面からの 1 件ずつの保存の他、ファイル共有機能によるファイラーを使用してのアクセス(リードオンリー)を可能とします。

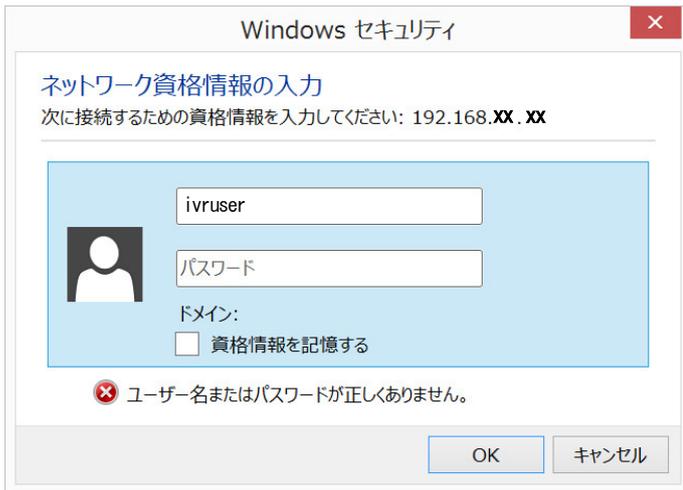
11. 3. 1 通話録音音声のファイル共有参照

クライアント PC の OS が Windows7/8.1 の場合は、ファイル共有機能を利用して通話録音音声ファイルを外部ドライブやメディアに保存することができます。

(クライアント PC の OS が Windows10 の場合は、WEB ブラウザを使用して通話録音音声ファイルを外部ドライブやメディアに保存してください)

管理 PC のエクスプローラから「¥¥本装置の IP アドレス(初期値 192.168.0.101)¥」と入力すると以下の画面が表示されます。既定のログイン ID「ivruser」(変更不可)と上記で設定したパスワードでログインすると、通話録音音声が入った共有フォルダにアクセスできます。

以下は Windows8.1 の画面例



なお、この機能は本装置から外部へのコピーを目的としております。

コピーした音声データを本装置に戻しての運用は想定しておりませんのでご了承ください。

また、外部にバックアップした音声ファイルに対しての検索機能はございませんので、ファイル名の命名規則から通話日時・発番号・着番号・発着区分を元に必要な音声ファイルを Windows のファイル検索機能を使って検索してください。

通話録音ファイル名は、call_通話開始日時_発着(out/inc)_発信番号_着信番号_ID.wav となります。

※発信者番号が非通知の場合はファイル名の発信番号の部分は「anonymous」となります。

※ID 部分は重複防止のための英数字 2 桁が自動で付加されます。

12. メンテナンス

12.1 回線状態・システム状態の確認

管理メニューの「システムの状態表示」画面から回線およびシステムの状態確認が可能です。
障害時にシステムの状態を確認する場合、この画面を確認いただく場合があります。

IVR-VoIP ログアウト

管理メニュー >> システム関係 > システムの状態表示

■ システム状態

システム時刻	2017/09/19 16:33:00
ディスク使用率	3%

■ ネットワーク状態

LINEリンク状態	リンクアップ
LINEリンク速度	1000Mb/s Full
Terminalリンク状態	リンクアップ
Terminalリンク速度	100Mb/s Full
Maintenanceリンク状態	リンクアップ
Maintenanceリンク速度	1000Mb/s Full

■ LINE接続状況

LINE接続情報	8w4Hc/sip.ntt-east.ne.jp:5060
LINE MACアドレス	
LINE IPアドレス	
LINE GWアドレス	
LINE SIPサーバアドレス	
契約電話番号	0123456789

管理メニュー

- HOME
- 運用管理
 - 発着信の履歴(参照・保存)
 - 伝言録音(再生・保存)
 - 通話録音(検索・再生・保存)
 - 着信規制(検索・登録・保存)
 - 発信規制(検索・登録・保存)
- 事前準備
 - ログインID登録
 - 電話番号の設定
 - 休日カレンダーの登録
 - 音声ガイダンスの登録
 - 伝言録音ガイダンスその他
 - 保留とガイダンス
- 電話着信時の動作設定
 - 着信メイン処理
 - 端末呼出し
 - 外線転送
- システム関係
 - システムの状態表示

■ ネットワーク状態

項目	内容
LINE リンク状態	フレッツ光ネクスト回線とのリンク状態 正常時：リンクアップ 異常時：リンクダウン ※リンクダウン時は網接続ポートと ONU との接続異常もしくは回線自体の異常が考えられます
Terminal リンク状態	下位端末とのリンク状態 正常時：リンクアップ 異常時：リンクダウン ※リンクダウン時は端末接続ポートと下位端末との接続異常が考えられます
Maintenance リンク状態 (LAN ポート状態)	LAN ポートに接続した管理 PC もしくはクライアントネットワークとのリンク状態 正常時：リンクアップ 異常時：リンクダウン リンクダウン時は LAN ポートと社内ネットワークとの接続異常が考えられます

■ LINE 接続状況

項目	内容
契約電話番号	ひかり電話の契約電話番号 正常時：契約電話番号 異常時：番号表示なし 番号表示なしの場合、正しくフレッツ光ネクスト回線と通信出来ていない可能性があります

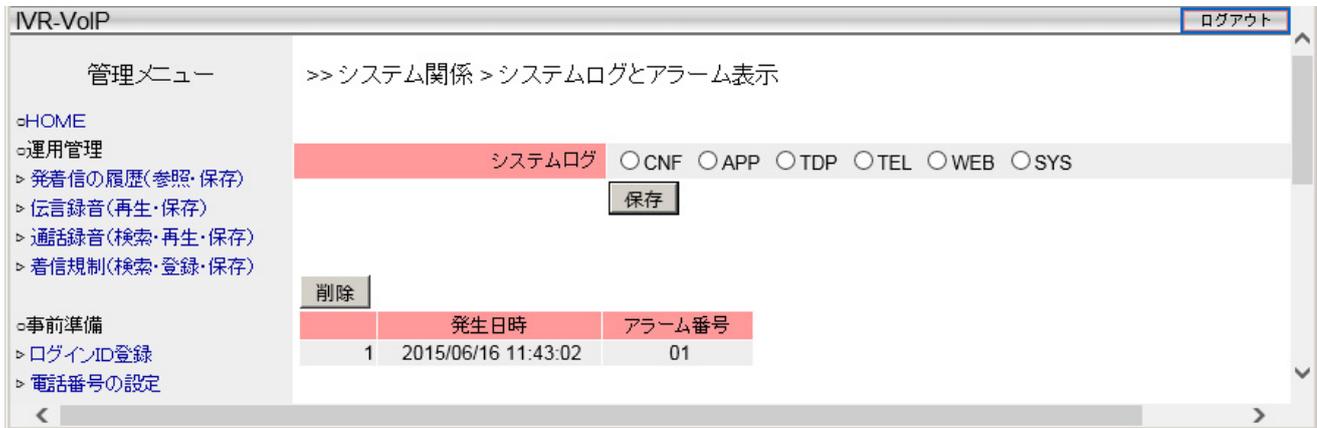
12. 2 システムログの取得とアラーム表示

アラームは装置本体正面パネルの液晶表示部またはランプ、および管理画面にて表示されます。

管理メニューの「システムログとアラーム表示」画面からシステムログの取得およびアラームの内容確認・アラーム消去ができます。

なおアラームが表示された場合には発生時の状況の確認のため、全ての種類のログ取得を行ってください。

念のため、自動再起動により正常動作に復旧している場合にもログ取得を行ってください。



項目	内容
システムログ	保存したいログ種類を選択します ・ CNF : 設定系のファイル ・ APP : アプリケーションの処理ログ ・ TCP : TCP ダンプのパケットログ ・ TEL : 電話系制御ログ ・ Web : Web 機能ログ ・ SYS : OS のシステムログ
保存 ボタン	システムログで選択したログを保存します
削除 ボタン	アラーム情報はクリアされ、正面パネルの液晶表示(IVR-100VoIP)やステータスランプ(IVR-24VoIP)表示も通常表示となります
アラーム詳細	アラームの発生日時および障害

【アラーム詳細】

アラーム番号	アラーム内容	対処方法
01	ストレージ使用容量閾値超過	管理メニューの「伝言録音」「通話録音」画面にて、不要な録音ファイルを削除してください
02	メモリ使用容量閾値超過	アラーム表示削除後再度表示されるようであれば、装置再起動を行います 再起動しても同現象が発生する場合には、装置不良の可能性がありますので販売店または当社営業所へご連絡ください
03	CPU 使用率閾値超過	アラーム表示削除後再度表示されるようであれば、装置再起動を行います 再起動しても同現象が発生する場合には、装置不良の可能性がありますので販売店または当社営業所へご連絡ください
09	電源異常	UPS による停止が実行されたときに表示されます 特に対応はありません
51	NGN 接続サービスプロセス停止	各プロセスは自動再起動されるため、特に対応はありません 再起動しても同現象が発生する場合には、装置不良の可能性がありますので販売店または当社営業所へご連絡ください
52	端末接続サービスプロセス停止	
53	電話接続制御サービスプロセス停止	
54	Web 機能サービスプロセス停止	
55	液晶パネル(ランプ)制御モジュールプロセス停止	
99	アラームによる装置再起動	自動再起動されたことを表示しているもので、特に対応はありません

※当社営業所については、当社ホームページ (<https://www.takacom.co.jp>) の「営業拠点」をご覧ください。

12. 2. 1 IVR-100VoIP 正面パネル液晶表示

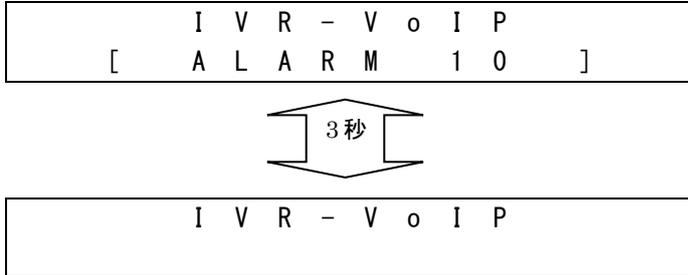
アラームが発生した場合、正面パネルの液晶表示はトップメニューに強制遷移し、アラーム番号が表示されます。その後は3秒ごとに通常表示とアラーム表示が切り替わります。

アラームが複数発生している場合は最初のアラーム番号のみ表示されます。

アラームが表示されている場合でもメニュー機能は操作可能です。

その場合は、再度手動でトップメニューに戻った場合のみアラーム表示に切り替わります。

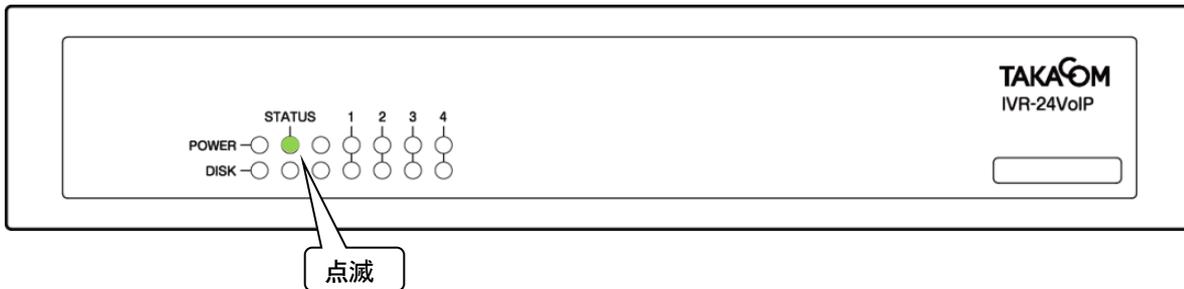
管理メニューの「システムログとアラーム表示」画面からアラームの削除を行うまで、正面LCDのアラーム表示は消えません。



12. 2. 2 IVR-24VoIP 正面パネルランプ

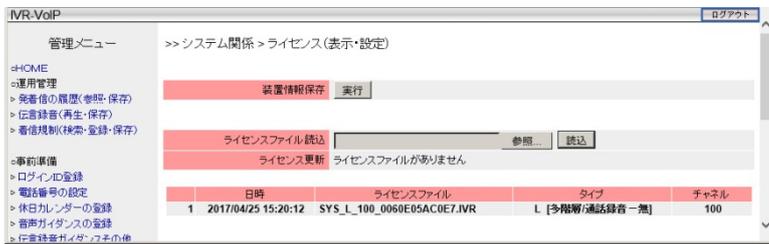
アラームが発生した場合、正面パネルの「STATUS」ランプが点滅表示となります。

管理画面からアラーム削除を行うまで、正面パネルのアラーム表示は消えません。



13. ライセンス

管理メニューの「ライセンス(表示・設定)」から製品に組み込まれたライセンス確認・ダウンロード・更新が可能です。ライセンスの更新については、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。ライセンスディスクがお手元に届きましたら、以下の手順により操作してください。また、ライセンスの更新は本装置の再起動が必要になります。運用に支障のない時間帯に行ってください。



13.1 ライセンスのダウンロード

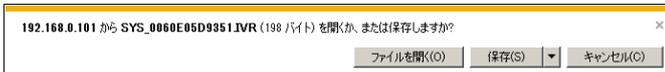
【手順1】

「装置情報ダウンロード:」の横にある **実行** ボタンを押します。



【手順2】

ダウンロードを促すダイアログが表示されますので **OK** ボタンを押すとダウンロードが始まりますので任意の場所に保存してください。



13.2 ライセンスの更新

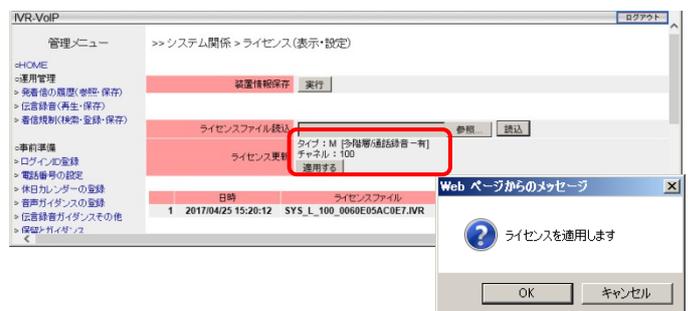
【手順1】

参照... ボタンを押して入手したライセンスファイルを選択した後、**読込** ボタンを押すと確認ダイアログが表示されますので **OK** を押します。



【手順2】

適用する ボタンを押すと確認ダイアログが表示されますので **OK** を押します。



【手順3】

適用する ボタンが **再起動** ボタンに替わります。**再起動** ボタンを押して再起動を行ってください。



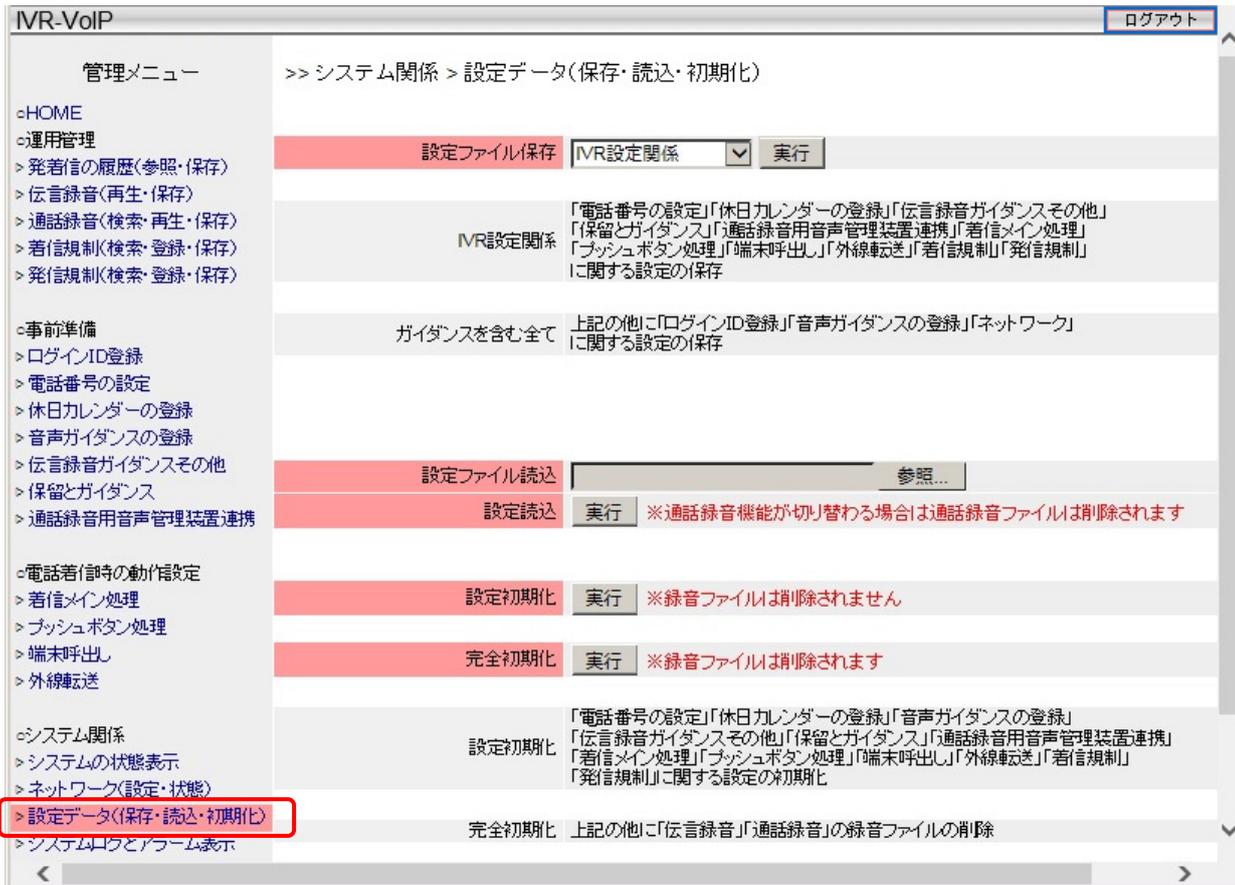
通話中に再起動を行うと通話が切断されますので、通話が無い状態を確認してから再起動を行ってください。

(下位端末の再起動が必要となりますのでご注意ください)

14. 設定データ

14.1 設定データの保存・読込

管理メニューの「設定データ(保存・読込・初期化)」画面から設定の保存・読込・初期化などが行なえます。故障時に備えて、導入時や設定変更時は必ず設定の保存を行ってください。



項目	内容
設定ファイル保存「選択メニュー」	<p>プルダウンメニューから保存内容を選択</p> <p>「IVR 設定関係」：以下の設定項目が保存対象です</p> <p>「電話番号の設定」「休日カレンダーの登録」「伝言録音ガイダンスその他」「保留とガイダンス」</p> <p>「着信メイン処理」「プッシュボタン処理」「端末呼出し」「通話録音用音声管理装置連携」</p> <p>「発信規制」「着信規制」「外線転送」</p> <p>「ガイダンスを含む全て」：上記の他に「ログインID登録」「音声ガイダンスの登録」「ネットワーク」が保存対象です</p>
設定ファイル保存 <input type="button" value="実行"/> ボタン	プルダウンメニューから選択した保存内容に従い、設定の保存を実行
設定ファイル読込 <input type="button" value="参照..."/> ボタン	「設定ファイル保存」で保存した設定ファイルを参照
設定読込 <input type="button" value="実行"/> ボタン	<p>設定ファイル読込 <input type="button" value="参照..."/> ボタンで参照した設定ファイルを読み込み</p> <p>注意：「ガイダンスを含む全て」の設定ファイルを読み込んだ場合、再起動が必要になり、<input type="button" value="実行"/> ボタンが <input type="button" value="再起動"/> ボタンになります。<input type="button" value="再起動"/> ボタンを押して本装置の再起動を行ってください</p> <p>設定ファイル読込により通話録音モードが切り替わる場合、現在の通話録音ファイルは削除されます</p>
設定初期化 <input type="button" value="実行"/> ボタン	<p>動作に関する設定のみを初期化</p> <p>「電話番号の設定」「休日カレンダーの登録」「音声ガイダンスの登録」「伝言録音ガイダンスその他」「保留とガイダンス」</p> <p>「通話録音用音声管理装置連携」「着信メイン処理」「端末呼出し」「プッシュボタン処理」「外線転送」「発信規制」</p> <p>「着信規制」に関する設定の初期化</p>
完全初期化 <input type="button" value="実行"/> ボタン	<p>「設定初期化」に加え「伝言録音」「通話録音」の録音ファイルの削除</p> <p>※「ログインID登録」、「ネットワーク」、「ライセンス」に関する設定および「システムログとアラーム表示」</p> <p>「発着信の履歴」に関するデータは削除されません</p>

14. 2 設定データの操作対象

設定データの各種操作に対する対象項目を以下に示します。

対象項目	設定ファイル保存		初期化	
	IVR 設定関係	ガイダンス含む全て	設定初期化	完全初期化
発着信の履歴	×	×	×	×
伝言録音	×	×	×	○
着信規制	○	○	○	○
発信規制	○	○	○	○
通話録音	×	×	×	○
ログインID 登録	×	○	×	×
電話番号の設定	○	○	○	○
休日カレンダーの登録	○	○	○	○
音声ガイダンスの登録	×	○	○	○
伝言録音ガイダンスその他	○	○	○	○
保留とガイダンス	○	○	○	○
通話録音用音声管理装置連携	－（使用しません）	－（使用しません）	－（使用しません）	－（使用しません）
着信メイン処理	○	○	○	○
プッシュボタン処理	○	○	○	○
端末呼出	○	○	○	○
外線転送	○	○	○	○
ネットワーク設定	×	○	×	×
システムログとアラーム表示	×	×	×	×
ライセンス	×	×	×	×

15. バージョンアップ

本装置のバージョンアップが必要なときに操作します。本機能は当社作業員によるメンテナンス機能のため、操作対象外となります。

16. 無停電電源装置(オプション)について

16. 1 無停電電源装置の用意

本装置は正しい操作で停止させる必要があります。停電により本装置の電源が落ちた場合、通話が出来なくなる・起動不能の障害が発生します。

必ず無停電電源装置をご用意もしくは無停電環境でご利用ください。

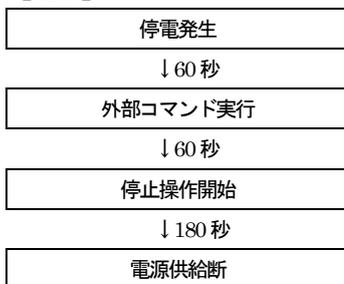
上記が守られない環境で故障した場合、保証が受けられなくなりますのでご注意ください。

本装置では以下の環境において自動的に停止操作を行う事が可能です。

16. 2 UPS 接続環境

当社オプションのUPS (IVR-24V₀IP-UPS/IVR-100V₀IP-UPS) (別売品) をUSB 接続した場合、停電時はUPS からの停止操作指示によりシステムが自動的に停止します。

【流れ】



16. 3 UPS による自動停止時のアラーム表示について

停電による自動停止時には「システムログとアラーム表示」(※) に「アラーム番号 09」の電源異常のアラームが発生します。

※詳細については「12. 2 システムログの取得とアラーム表示」(58 ページ) を参照してください。

17. 「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスの利用について

ひかり電話オフィスA（エース）の「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスを利用して、装置の故障検知と故障検知時の一括転送を行う場合の留意事項について説明します。

上記サービスを利用するとサービス提供元から故障回復検知用電話番号に対して、障害監視のために一定時間間隔で試験呼の着信が発生します。このため下位端末(PBX 等)にも試験呼に対する適切な設定を行う必要がありますのでご注意ください。

17. 1 試験呼番号に対する設定

まず、「[9. 3. 1 着信番号および着信グループの登録](#)」（33 ページ）を参照し、故障回復検知用電話番号の登録を行って下さい。通話録音機能有りの場合は、電話番号の設定で必ず故障回復検知用電話番号に対する「通話録音」のチェックを外してください。次に、「[10. 3 着信メイン処理](#)」（45 ページ）を参照し、上記で登録した故障回復検知用電話番号に対する動作を設定します。着信メイン処理の設定は下位端末の有無によって設定が異なります。

条件	下位接続端末がない場合	下位接続端末がある場合
優先順位	0(無効以外に設定)	
非通知	チェック無し	
休日カレンダー・曜日・時間	指定しない	
待機時間	60 秒	なし
対応動作	再生&切断	透過呼出
動作パラメータ	添付 CD 内の障害検知電話番号用ガイダンス	なし

17. 1. 1 下位端末が無い場合の試験呼に対する設定例

IVR-VoIP 管理メニュー >> 電話着信時の動作設定 > 着信メイン処理

グループ番号選択: 99: 故障・回復通知用電話番号
 年間スケジュール保存: 2019 年 保存

グループ99: 故障・回復通知用電話番号

動作条件					対応動作			
優先順位	非通知	休日カレンダー	曜日	時間	チャネル制限	待機時間	動作	パラメータ
00						60 秒	再生&切断	01: 障害検知電話番号用ガイダンス

17. 1. 2 下位端末がある場合の試験呼に対する設定例

IVR-VoIP 管理メニュー >> 電話着信時の動作設定 > 着信メイン処理

グループ番号選択: 99: 故障・回復通知用電話番号
 年間スケジュール保存: 2019 年 保存

グループ99: 故障・回復通知用電話番号

動作条件					対応動作			
優先順位	非通知	休日カレンダー	曜日	時間	チャネル制限	待機時間	動作	パラメータ
00						秒	透過呼出	

17. 2 停止時の注意事項

正常稼働状態から本装置を停止する場合、LINE ポートのケーブルが接続状態のまま、管理メニューまたは IVR-100VoIP 前面パネルにて停止操作を行うと、「故障・回復通知機能」が働かず「一括転送機能」が動作しません。

停止時に「故障・回復通知機能」「一括転送機能」を動作させるためには、停止操作を行う前に「LINE」ポートの接続ケーブルを外してください。

IVR-100VoIP 正面の電源スイッチにより停止した場合、LINE ポートのケーブルが接続状態のままでも「故障・回復通知機能」「一括転送機能」が動作します。**(※IVR-24VoIP を管理メニューの停止処理実行前に、背面電源スイッチによる電源断は故障の原因となるので、絶対に行わないでください)**

17. 3 UPS による停止

UPS 装置からの停止手続きにて本装置が停止を行う場合には、LINE ポートのケーブルが接続状態のままでも「故障・回復通知機能」「一括転送機能」が動作します。

17. 4 下位端末の故障検知

本装置が正常稼働中で、試験呼出しに設定された下位端末が無応答となった場合には、「故障・回復通知機能」「一括転送機能」が動作します。

17. 5 「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスの動作確認について

ひかり電話オフィス A (エース) の「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスによる一括転送動作の確認には異常状態から 4 分程度待って、一括転送動作が発生するか確認してください。

18. 困る前に・困ったときは

万が一の時の為に十分な備えを行ってください。

18. 1 設定のバックアップ

修理等で装置が初期化される事を想定し設定等のバックアップを常に行ってください。

18. 2 IP アドレスを忘れた

対応がモデルによって異なります。

IVR-100VoIP	IVR-24VoIP
前面パネルの上下キーを操作しネットワークメニューで LAN ポートの IP アドレスを確認する事が出来ます	10 秒以上の長押し後にスイッチを離すと、再起動後以下ようになります ・ LAN ポートの IP アドレスが初期値(192.168.0.101)に戻ります ・ GW アドレスが初期値(空欄)に戻ります(他ネットワークとの接続は出来なくなります) 10 秒未満で離れた場合は何も動作しません

18. 3 ログイン画面が表示されない

【チェック 1】 LAN ポート両端のランプが点灯もしくは点滅していない

上記の場合は管理 PC と通信自体が出来ていません。

LAN ポートに接続にしている LAN ケーブルの断線もしくは HUB の故障が考えられます。

本装置の LAN ポートと管理 PC を LAN(クロス)ケーブルで接続し、LAN ポート両端のランプが点灯もしくは点滅することを確認してください。

【チェック 2】 管理 PC から本装置への Ping 疎通ができない

本装置の LAN ポートの IP アドレスが間違っている、もしくは管理 PC の IP アドレスが LAN ポートと同一ネットワークセグメントになっていないことが考えられます。

管理 PC の IP アドレスが本装置の LAN ポートと同一ネットワークセグメントである事を確認し、本装置の LAN ポートと管理 PC を LAN(クロス)ケーブルで接続しブラウザからログイン画面へのアクセスしてください。

【チェック 3】 ブラウザに特殊なプラグインがインストールされている

プラグインの影響により、管理画面へのアクセスが制限されている場合があります。

一時的にプラグインを無効にして接続可能か試してください。

18. 4 初期設定管理者アカウントでログインできなくなった

管理者用アカウントを新規に登録した場合、初期設定で用意した管理者ログインアカウント「ID:admin/パスワード:12345」は使用できなくなります。新規登録した管理者アカウントでログインしてください。

18. 5 着信動作設定しても「透過転送」になる

以下の原因が考えられますので設定の見直しを行ってください。

- ・ 動作設定した着信グループに着信していない。
- ・ 着信グループに動作設定を行っていない。
- ・ 動作条件に合致しなかった。
- ・ 条件設定で優先順位が無効のままになっている。

18. 6 ひかり電話の通話ができない

【チェック 1】LINE ポート上部左右ランプが消灯状態

ONU との通信不良・LAN ケーブルの接続不良や接触不良・ONU の電源断が考えられます。
再確認後、本装置の再起動を試みて、LINE ポート右側ランプが点灯する事を確認してください。

【チェック 2】Terminal ポート上部左右ランプが消灯状態

下位端末との通信不良が考えられます。

LAN ケーブルの接続不良や接触不良・下位端末の電源断が考えられます。

再確認後、本装置の再起動を試みて、Terminal ポート右側ランプが点灯する事を確認してください。

【チェック 3】下位端末の「ひかり電話ランプ(Home Gateway)」や「VoIP ランプ(Office Gateway)」が点灯しない

下位端末の再起動が原因と考えられます。

本装置の再起動・システム起動完了後に、下位端末の再起動を行っていないもしくは早すぎる下位端末の再起動を行なった場合は正しく通話できません。[「8. 2. 3 装置停止時の注意事項」](#) (25 ページ) を参照し下位端末の再起動を行ってください。

【チェック 4】

回線契約チャンネル分の同時通話ができない

本装置のライセンスが不足していることが考えられます。ライセンスのチャンネル数は、回線の契約チャンネル数以上が必要です。
本装置のライセンス設定が契約チャンネル以上になっているか確認してください。

18. 7 ハードウェア故障の判断

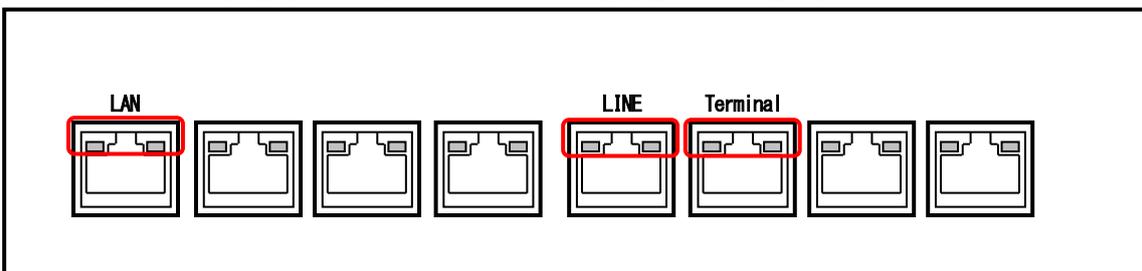
ハードウェア故障かどうかを判断するため、以下の確認を行います。

18. 7. 1 IVR-100VoIP モデル

(1)LAN ポート

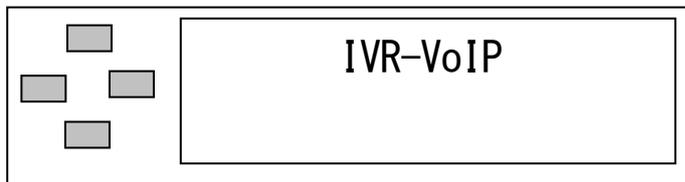
正面パネルの LAN ポート、LINE ポート、Terminal ポートコネクタに実装されているランプの状態を確認します。

それぞれのポートに接続されている機器が正常に稼働しているにもかかわらず、各ポート上部左右のランプが全て消灯している場合には、ハードウェア故障が想定されます。一部のポートの上部左右のランプが消灯している場合、ネットワーク障害の可能性があるので、ネットワーク経路・LAN ケーブル・HUB 等を確認してください。



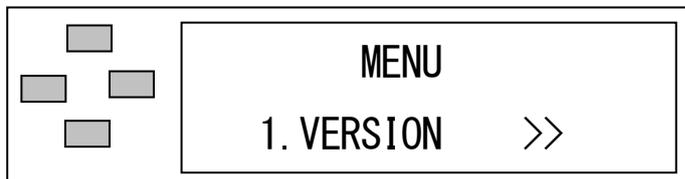
(2)LCD 画面

正面パネルの LCD 画面の状態を確認します。本装置が起動状態にもかかわらず、あるいは再起動を行っても、下記画面が表示されない場合には、ハードウェア故障が想定されます。



(3)カーソルキー

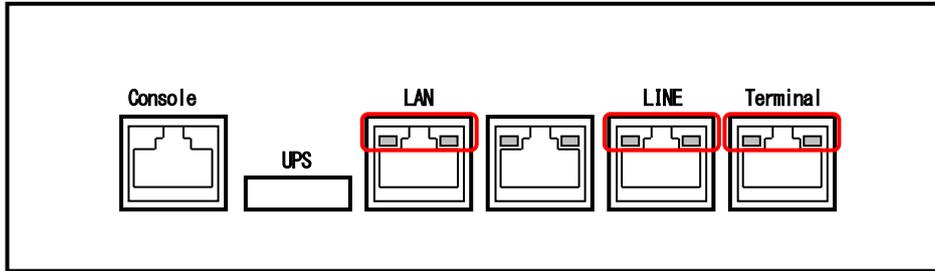
正面パネル LCD 画面左側のカーソルキーにて「下」「上」の操作で、メニュー画面が変化しない場合には、ハードウェア故障が想定されます。



18. 7. 2 IVR-24VoIP モデル

(1)LAN ポート

背面パネルの LAN ポート、LINE ポート、Terminal ポートコネクタに実装されているランプの状態を確認します。それぞれのポートに接続されている機器が正常に稼働しているにもかかわらず、各ポート上部左右のランプが全て消灯している場合には、ハードウェア故障が想定されます。一部のポートの上部左右のランプが消灯している場合、ネットワーク障害の可能性があるので、ネットワーク経路・LAN ケーブル・HUB 等を確認してください。



(2)ランプ表示

正面パネルのランプ表示の状態を確認します。本装置が起動状態にもかかわらず、あるいは再起動を行っても、「POWER」ランプが点灯、「STATUS」ランプが点灯・点滅しない場合には、ハードウェア故障が想定されます。

	POWER	STATUS	1	2	3	4
POWER	●	●	●	●	●	●
DISK	●	●	●	●	●	●

19. ソフトウェアライセンス表示について

本製品のソフトウェアには、オープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。管理メニューの「ソフトウェアライセンス情報」画面にて、本製品で利用する OSS のライセンス情報を確認することができます。

参考資料

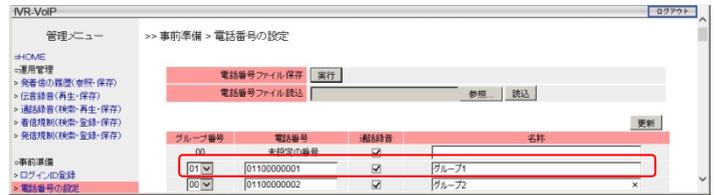
具体的な動作設定方法

設定事例 1. 業務時間内の下位端末に対する透過呼出し、および業務時間外ガイダンスの再生

- (1) 毎年 12 月 28 日から 1 月 3 日までの終日(カレンダー00)は年末年始用ガイダンス再生
- (2) 月曜～金曜 営業時間内(9:00～17:30)は IVR 応答せず透過して下位端末を呼出し
- (3) 月曜～金曜 営業時間外(9:00～17:30 以外)は時間外用ガイダンスを再生し切断
- (4) 土日は休業ガイダンスを終日再生し切断

【手順 1】

本設定を動作させたい着信番号をグループ番号(例：01)に登録します。



【手順 2】

カレンダー00 を年末年始用カレンダーとして作成し、動作対象となる日付を登録します。



【手順 3】

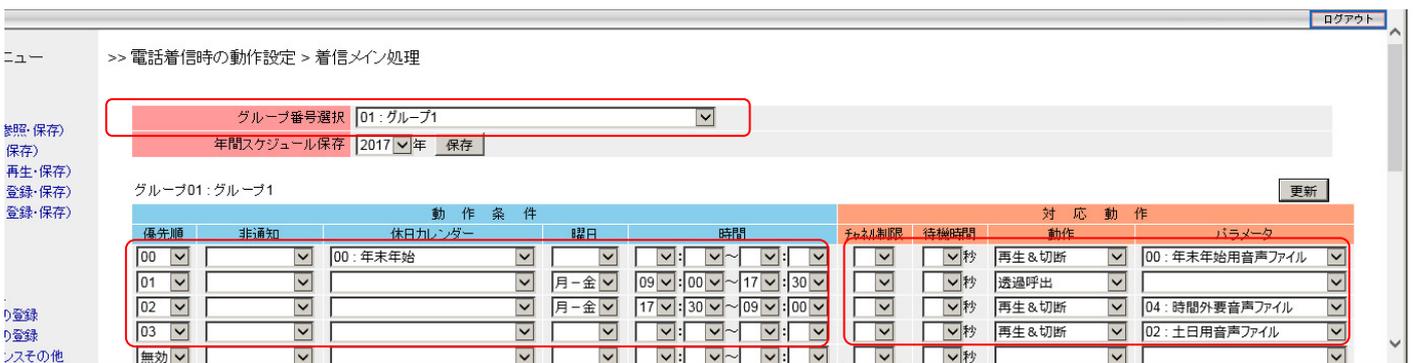
パソコンなどを利用し各種音声ガイダンスを作成し事前に登録します。



【手順 4】

着信メイン処理でグループ番号(例：01)を選択します。動作条件として以下を登録します。

- 「優先順位：00」「カレンダー：00 年末年始」「動作：再生&切断」「パラメータ：00 年末年始用音声ファイル」
- 「優先順位：01」「曜日：月一金」「時間：09:00～17:30」「動作：透過転送」
- 「優先順位：02」「曜日：月一金」「時間：17:30～09:00」「動作：再生&切断」「パラメータ：04 時間外用音声ファイル」
- 「優先順位：03」「曜日：土-日」「動作：再生&切断」「パラメータ：02 土日用音声ファイル」



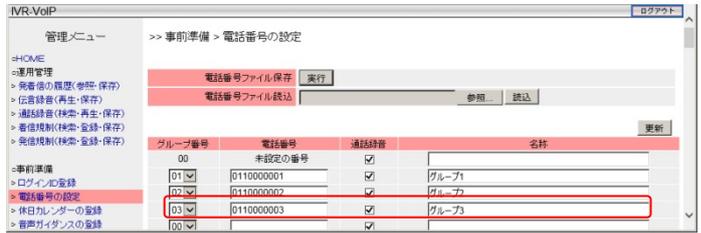
以上で設定が完了しました。

設定事例 2. 2階層分岐処理・着信番号指定で下位端末を呼出し・保留設定

- (1)メニューを再生して、プッシュ入力に対応した着信先電話番号で下位端末を呼出し
- (2)下位端末呼出中は保留機能にて保留音中に一定のインターバルで「お待たせ」ガイダンスを再生

【手順 1】

本設定を動作させたい着信番号をグループ番号(例：03)に登録します。



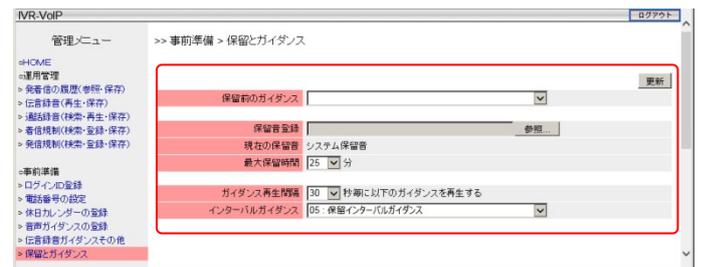
【手順 2】

パソコンなどを利用し各種音声ガイダンスを作成し事前に登録します。



【手順 3】

下位端末呼出時の「保留とガイダンス」の設定を行ないます。一定間隔でインターバルガイダンスを再生したい場合等の各種設定を行ないます。



【手順 4】

呼出条件の登録。下位端末を呼出す際の動作と着信先電話番号(ダイヤルイン)などの条件として以下を登録します。

「呼出 00：着信時の電話番号で下位端末を呼出す」

「呼出 01～08：着信先番号 xxxxxxxxxx1～xxxxxxxxxxx8 で下位端末を呼出す」

「呼出時間：35 秒」を越えて下位端末が未応答の場合は「未応答動作：保留とガイダンス」動作させ、設定時間保留状態の

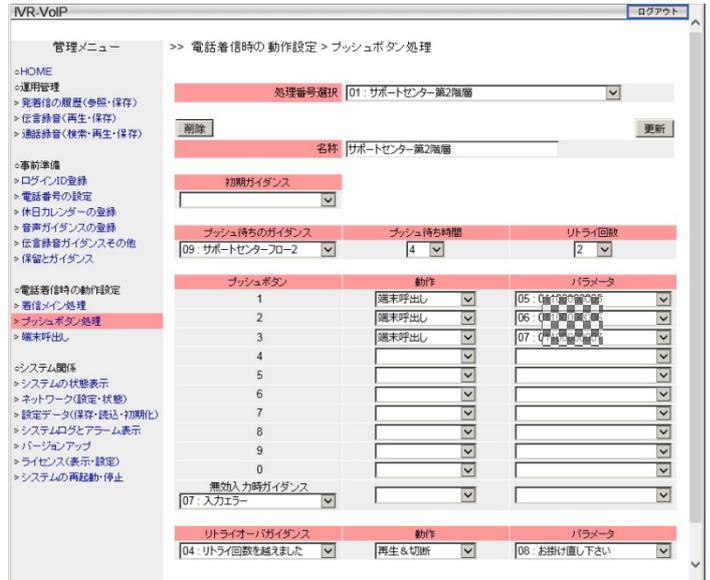
場合の動作として「再生&切断」としその際は「お掛け直しください」ガイダンスを再生して終了する。



【手順5】

2階層目のプッシュボタン処理を先行して設定します。
動作条件として以下を指定します。

- 「名称：任意の名称を登録」
- 「プッシュ時のガイダンス：2階層目の入力案内のガイダンスを指定」
- 「プッシュ待ち時間：任意の秒数を選択」
- 「リトライ回数：任意のリトライ回数を選択」
- 「プッシュボタン：動作：任意の動作を選択」
- 「プッシュボタン：パラメータ：任意動作に対するパラメータを選択」
- 「無効入力時ガイダンス：無効入力時に再生するガイダンスを指定」
- ※未入力時には再生されません。
- 「リトライオーバーガイダンス：リトライ回数を越えた際のガイダンスを指定」
- 「リトライオーバー時動作：再生&切断を選択」
- 「リトライオーバー時パラメータ：お掛け直しくださいガイダンスを選択」



【手順6】

1階層目のプッシュボタン処理を設定します。
動作条件として以下を指定します。

- 「名称：任意の名称を登録」
- 「初期ガイダンス：着信時の会社名ガイダンス等を指定します」
- 「プッシュ時のガイダンス：1階層目の入力案内ガイダンスを指定」
- 「プッシュ待ち時間：任意の秒数を選択」
- 「リトライ回数：任意のリトライ回数を選択」
- 「プッシュボタン：動作：任意の動作を選択」
- 「プッシュボタン：パラメータ：任意動作に対するパラメータを選択」
- 「無効入力時ガイダンス：無効入力時に再生するガイダンスを指定」
- ※未入力時には再生されません。
- 「リトライオーバーガイダンス：リトライ回数を越えた際のガイダンスを指定」
- 「リトライオーバー時動作：再生&切断を選択」
- 「リトライオーバー時パラメータ：お掛け直しくださいガイダンスを選択」



【手順7】

着信メイン処理でグループ番号(例：03)を選択します。
動作条件として以下を登録します。

「優先順位：00」動作：プッシュボタン処理」「パラメータ：00 サポートセンター第1階層」



以上で設定が完了しました。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

型名 / 保証期間	音声応答転送装置 IVR-100VoIP, IVR-24VoIP / お買い上げから 1 年間		
お買い上げ日	年	月	日
保 証 書	お客様 お名前		
	ご住所	〒	
	電話番号		
販 売 店	名前		
	住所	〒	
	電話番号		

保証条件

- 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
 - ① 保証書の提示がない場合
 - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
 - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9:00～17:30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ <https://www.takacom.co.jp>
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社 **タカコム**

本社・工場 / 〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709